

学校コード

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

神戸常盤大学 保健科学部 診療放射線学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人玉田学園

令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	法人本部企画調整課
職名・氏名	カチョウ コタニ シンイチ 課長・小谷 伸一
電話番号	078-611-1838 (内線: 1356)
(夜間)	078-611-1838 (内線: 1357)
e-mail	kikaku@kobe-tokiwa.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

保健科学部

<診療放射線学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	4
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	22
4. 既設大学等の状況	23
5. 教員組織の状況	24
6. 附帯事項等に対する履行状況等	51
7. その他全般的事項	52

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人玉田学園

(2) 大学名

神戸常盤大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒653-0838

兵庫県神戸市長田区大谷町2-6-2

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(アサヒ ジロウ) 旭 次郎 (昭和61年4月)	(ナカムラ タダシ) 中村 忠司 (令和5年4月)	退職による。 令和5年4月1日(5)
学長	(ハマダ ミチオ) 濱田 道夫 (平成29年4月)		
学部長	(カマダ ミチコ) 鎌田 美智子 (平成27年4月)	(シオタニ ヒデユキ) 塩谷 英之 (令和3年4月)	退職による。 令和3年4月1日(3)
学科長等	(マツダ マサフミ) 松田 正文 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員		
保健科学部 診療放射線学科 学士 (診療放射線学)	保健医療系(保健) 理学療法及びリハビリテーション領域を専攻	4年	75人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	300人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他	春季入学	その他	春季入学	その他	春季入学	その他	春季入学	その他	春季入学	その他					
A 入学定員	()	()	()	()	75人	()	1.14倍	-	1.08倍	-							
志願者数	()	()	()	()	186	()	240	()	306	()	309	()					
受験者数	()	()	()	()	183	()	235	()	304	()	307	()					
合格者数	()	()	()	()	113	()	115	()	131	()	125	()					
B 入学者数	()	()	()	()	86	()	85	()	88	()	86	()					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	1.14	-	1.13	-	1.17	-	1.14	-					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ () 内には、**編入学の状況について外数で記入**してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に依り学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみを実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。
 また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、**小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで**記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。

(5) ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備考
	春季入学	その他	春季入学	その他	春季入学	その他	春季入学	その他	春季入学	その他	春季入学	その他	
1年次	()	()	()	()	86	()	85	()	88	()	86	()	
2年次	()	()	()	()	()	()	84	()	85	()	88	()	
3年次	()	()	()	()	()	()	()	()	78	()	77	()	
4年次	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	74	()	
計	()	()	()	()	86	()	169	()	251	()	325	()	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ []内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ () 内には、**留学生の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ **編入学や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 ・ 学期の区分に依り学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみを実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。
 また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	86人	2人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	2人	人	他の教育機関への転学(1名)、除籍(1名)
令和3年度	169人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	251人	6人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	5人	人	他の教育機関への転学(4名)、学力不足(1名)
			令和3年度	1人	人	他の教育機関への転学(1名)
			令和4年度	人	人	
令和5年度	325人	12人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	3人	人	他の教育機関への転学(2名)、学力不足(1名)
			令和3年度	8人	人	他の教育機関への転学(3名)、就職(1名)、除籍(1名)、学力不足(2名)、学生個人の心身に関する事情(1名)
			令和4年度	1人	人	他の教育機関への転学(1名)
			令和5年度	人	人	
合計		20人		20人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。〔在学者数から退学者数を減らす必要はありません。〕
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{86} = \boxed{2.32} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{169} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{251} = \boxed{2.39} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{12}{325} = \boxed{3.69} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健科学部 診療放射線学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学びの始め	まなぶる▶ときわびとⅠ	1前	2			2	1				19
	まなぶる▶ときわびとⅡ	1後	1			2	1				14
	大学道場miniゼミA	1前		1		2	1				16
	大学道場miniゼミB	1後		1		2	1				11
	超ときわびと	1後		1		1					1
	小計(5科目)	-	3	3	0	2	3	1	0	0	46
人間探究科目群	情報基礎	1前	1			1					
	情報メディア演習	1後	1								2
	健康スポーツ科学Ⅰ	1前		1							6
	健康スポーツ科学Ⅱ	1前		1							2
	健康スポーツ科学Ⅲ	1後		1							2
	アカデミックライティング	1後	1								2
	コミュニケーション論	1前	1			1					
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1			1					
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1								1
	英語Aa (Communicative English Basic)	1前		1							2
	英語Ab (Communicative English Intermediate)	1後		1							2
	英語B (Presentation)	2・3・4前		1		1					
	英語C (Cultural Studies)	2・3・4後		1							1
	英語D (Academic English)	2・4・4後		1		1					
	手話コミュニケーション	1前		1							1
	いのちと共生	1後		1							7
	人類と地球環境	1前		1							1
	暮らしの中の数学	1前		1		1					
	統計学	1前		1			1				1
	暮らしの中の物理学	1前			1		1				
	現代社会と化学	1前		1							1
	人体のふしぎ	1前		1							7
	現代社会と生命科学	1前		1							1
安全学	1前		1							7	
人類と農学	1前		1							1	
プログラミング入門	1後		1		1						
日本国憲法	1前		2							1	
哲学	1前		1							1	
生命と倫理	1後		2							2	
芸術文化論	1前		1		1					3	
文学	1前		1							1	
日本通史	1前		1							1	
世界の時事	1後		1							1	
現代社会学	1前		1							1	
経済学	1前		1							1	
心理臨床学	1後		2							1	
人間関係論	1前		1							1	
教育と人間	1前		1							2	
	小計(38科目)	-	9	31	1	2	2	0	0	0	48

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学びの始め	まなぶる▶ときわびとⅠ	1前	2			1	0	3			23
	まなぶる▶ときわびとⅡ	1後	1			1	0	3			20
	大学道場miniゼミA	1前		1		2	0				11
	大学道場miniゼミB	1後		1		3	0				11
	小計(4科目)	-	3	2	0	3	1	0	3	0	41
人間探究科目群	情報基礎	1前	1			0					3
	情報メディア演習	1後	1			1					2
	健康スポーツ科学Ⅰ	1前		1							6
	健康スポーツ科学Ⅱ	1前		1							2
	健康スポーツ科学Ⅲ	1後	1								2
	アカデミックライティング	1後	1								3
	コミュニケーション論	1前	1			1					
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1			1					
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1								1
	英語Aa (Communicative English Basic)	1前		1							2
	英語Ab (Communicative English Intermediate)	1後		1							2
	英語Ac (Communicative English Advanced)	3前		1							1
	英語B (Presentation Skills)	2前		1		0					2
	英語C (Current Issues)	2後		1							1
	手話コミュニケーション	1前		1							1
	多文化コミュニケーション	1後		1							1
	いのちと共生	1後		1							7
	人類と地球環境	1前		1							1
	暮らしの中の数学	1前		1			0				1
	基礎統計学	1前		1			0				1
	暮らしの中の物理学	1前			1	1					
	現代社会と化学	1前		1							1
	人体のふしぎ	1前		1							6
現代社会と生命科学	1前		1							1	
安全学	1前		1							7	
人類と農学	1前		1							1	
プログラミング入門	1後		1			1					
日本国憲法	1前		2							1	
哲学と倫理	1前		1							1	
生命と倫理	1後	1								1	
芸術文化論	1前		1		1	0					
文学	1前		1							1	
日本通史	1前		1							1	
国際社会論	1後		1							2	
現代社会学	1前		1							1	
政治学	1後		1								
経済学	1前		1							1	
組織マネジメント論	1後		1							1	
心理臨床学	1後		1							1	
人間関係論	1前		1							1	
教育と人間	1前		1							3	
災害とまちづくり	1前		1							2	
国際理解	1前		1				1			11	
科学技術論	1後		1		1					2	
	小計(44科目)	-	9	35	1	3	2	1	0	0	51

創造実践科目群	地域との協働A	1-3-4B	1							2	
	地域との協働B	2-3-4B	1							2	
	災害とまちづくり	1-3-4B	1							4	
	コミュニティデザイン	1-3-4B	1			1				4	
	ライフデザイン	1-3-4B	1							1	
小計 (5科目)		—	0	5	0	0	1	0	0	0	12
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	医学概論	1前	1			1					1
	解剖学 I	1前	2								1
	解剖学 II	1後	2								1
	基礎生物学	1前			1						1
	基礎化学	1前			1						1
	生理学	1後	2								1
	病理学	2前	1								1
	腫瘍学	2前	1			1					1
	生化学	1後	1								1
	薬理学	2前	1								1
	公衆衛生学	1後	1								1
	臨床技術入門	1後	1			1	1				3
小計 (12科目)		—	13	0	2	2	1	0	0	0	11
保健医療福祉における理工学的基礎 並びに放射線の科学及び技術	放射線科学概論	1前	1			2					2
	診療放射線技術学概論	1前	1					1			1
	放射線生物学 I	2前	1					1			1
	放射線生物学 II	2後	1					1			1
	放射線物理学 I	1後	1			1					1
	放射線物理学 II	2前	1			1					1
	放射化学 I	1後	1								1
	放射化学 II	2前	1								1
	医用工学 I (電気工学)	1前	1				1				1
	医用工学 II (電子工学)	1後	1				1				1
	医用工学実習	2後	1				1				1
	基礎数学	1前			1			1			1
	応用数学	1後	2				1				1
	医用機器概論	3前		1							1
	放射線計測学	2前	2			1					1
	放射線計測学実習	2後	1			3					1
	救急医学概論	3後	1				1				1
	対人援助論	1後	1								1
	医療英語	2後	1			1					1
小計 (19科目)		—	19	1	1	5	3	2	0	0	6
診療画像技術学	X線撮影技術学 I (一般撮影)	2前	2					1			1
	X線撮影技術学 II (透視・造影検査)	2後	2					1			1
	X線撮影技術学 III (CT)	2後	2				1				1
	診療画像検査学 I (MR)	2後	2				1				1
	診療画像検査学 II (超音波・眼底)	2後	2								1
	診療画像技術学実習	3前	1				1	2	1		1
	画像診断機器学 I	2前	2								1
	画像診断機器学 II	2前	2								1
	画像診断機器学実習 I	2後	1				1				5
	画像診断機器学実習 II	3前	1				1		1		4
小計 (10科目)		—	17	0	0	0	1	3	1	0	5
画像診断学	画像解剖学	3前	1					1			1
	画像解剖学演習	3前	1					1			1
	画像診断学 I (頭部、頸部、脊髄)	3前	1								4
	画像診断学 II (胸部、心大血管、消化器他)	3前	1								4
小計 (4科目)		—	4	0	0	0	0	1	0	0	7
核医学検査技術学	核医学検査技術学 I	2前	2				1				1
	核医学検査技術学 II	2後	2				1				1
	核医学検査機器学	3前	1				1				1
	核医学機能解析学	3前	1				1				1
小計 (4科目)		—	6	0	0	1	0	0	0	0	4

創造実践科目群	地域との協働A	1通		1							4	
	地域との協働B	2通		1					1		3	
	コミュニティデザイン	1後		1					0		3	
	プロジェクトデザイン	2通		1							2	
	超ときわびと	2通		1							1	
小計 (5科目)		—	0	5	0	0	0	1	0	0	11	
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	医学概論	1前	1					1			1	
	解剖学 I	1前	2								1	
	解剖学 II	1後	2								1	
	基礎生物学	1前				1					1	
	基礎化学	1前				1					1	
	生理学	1後	2					1			1	
	病理学	2前	1								1	
	腫瘍学	2前	1					1			1	
	生化学	1後	1								1	
	薬理学	2前	1								1	
	公衆衛生学	1後	1								1	
	臨床技術入門	1後	1				1	2			3	
小計 (12科目)		—	13	0	2	2	2	0	0	0	10	
保健医療福祉における理工学的基礎 並びに放射線の科学及び技術	放射線科学概論	1前	1					3		1	0	
	診療放射線技術学概論	1前	1					2	3	1	1	
	放射線生物学 I	2前	1							1	1	
	放射線生物学 II	2後	1							1	1	
	放射線物理学 I	1後	1					1			1	
	放射線物理学 II	2前	1					1			1	
	放射化学 I	1後	1					1		1	0	
	放射化学 II	2前	1					1		1	0	
	医用工学 I (電気工学)	1前	1					1			1	
	医用工学 II (電子工学)	1後	1					1		1	1	
	医用工学実習	2前	1					1	1	1	1	
	基礎数学	1前				1			1		1	
	応用数学	1後	2						1		1	
	医用機器概論	3前					1				1	
	放射線計測学	2前	2					1			1	
	放射線計測学実習	2後	1					4	3	1	3	
	救急医学概論	3後	1						1		1	
	対人援助論	1後	1								1	
	医療英語	2後	1					1			1	
小計 (19科目)		—	19	1	1	1	6	4	1	2	0	5
診療画像技術学	X線撮影技術学 I (一般撮影)	2前	2						1	0	0	
	X線撮影技術学 II (透視・造影検査)	2後	2						1	0	1	
	X線撮影技術学 III (CT)	2後	2						1		1	
	診療画像検査学 I (MR)	2後	2						1	0	1	
	診療画像検査学 II (超音波・眼底)	2後	2								3	
	診療画像技術学実習	3前	1					1	2	1	2	
	画像診断機器学 I	2前	2								1	
	画像診断機器学 II	2前	2								1	
	画像診断機器学実習 I	2後	1					1	1		4	
	画像診断機器学実習 II	3前	1						1	3	6	
小計 (10科目)		—	17	0	0	0	2	3	1	3	0	8
画像診断学	画像解剖学	3前	1						2	0	0	
	画像解剖学演習	3前	1						1	0	1	
	画像診断学 I (頭部、頸部、脊髄)	3前	1						1		0	
	画像診断学 II (胸部、心大血管、消化器他)	3前	1						1		0	
小計 (4科目)		—	4	0	0	0	1	2	0	1	0	0
核医学検査技術学	核医学検査技術学 I	2前	2						1		1	
	核医学検査技術学 II	2後	2						1		1	
	核医学検査機器学	3前	1								1	
	核医学機能解析学	3前	1								1	
小計 (4科目)		—	6	0	0	0	1	0	0	1	0	

放射線治療技術学	放射線治療技術学Ⅰ	3前	2			1														
	放射線治療技術学Ⅱ	3前	2			1														
	放射線治療計測学	3前	1			1														
	放射線治療機器学	2後	1			1														
	放射線治療物理学	2後	1			1														
小計 (5科目)		-	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報画像学	放射線写真学	2前	1																	1
	医用画像工学	2後	2			1														
	医用画像工学実習	3前	2			1			1											
	医療情報学	2前	1						1											
小計 (4科目)		-	6	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
放射線安全管理学	放射線安全管理学	3前	2			1														
	放射線安全管理学実習	3後	1			3			1											4
	関係法規	3前	1			1														
小計 (3科目)		-	4	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
医療安全管理学	医療安全管理学	3前	1						1											
	医療安全管理学実習	3後	1			1			2	1										2
小計 (2科目)		-	2	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
実習臨床	臨床実習	3後	12			3	1	3	1											
	小計 (1科目)	-	12	0	0	3	1	3	1	0										
総合・発展技術	医療コミュニケーション	1後		1		1														
	臨床基礎実習	3後	1			3	1	3	1											
	IPW (多職種連携) 論	3後	1			3														3
	死亡時画像診断学(オートブシー・イメージング)	4前		1																1
	放射線カウンセリング学	4前		1			1													
	災害医療学	4前		1		1														3
	メディカルデータサイエンス	4前		1		3	1	1												3
	先進医学・技術学	4前		1																8
	医療経済・経営学	4前		1		1														1
	医療文献読解	4前	1			3		1	1											1
	アカデミックプレゼンテーション	4前		1		2	1													
	診療放射線技術学総合演習Ⅰ	4前		1		4	2	3	1											3
	診療放射線技術学総合演習Ⅱ	4後	2			4	2	3	1											3
	国際保健医療活動Ⅰ	4前		1																3
	国際保健医療活動Ⅱ	4前		1																5
	卒業研究	4通	4			4	3	3												
小計 (16科目)		-	10	10	0	7	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27
合計 (128科目)		-	112	50	4	7	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	133
卒業要件及び履修方法																				
必修科目112単位、選択科目12単位以上 合計124単位以上修得しなければならない。																				

放射線治療技術学	放射線治療技術学Ⅰ	3前	2			1														2
	放射線治療技術学Ⅱ	3前	2			1														
	放射線治療計測学	3前	1			1														
	放射線治療機器学	2後	1			1														
	放射線治療物理学	2後	1			1														
小計 (5科目)		-	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
情報画像学	放射線写真学	2前	1																	1
	医用画像工学	2後	2			1														
	医用画像工学実習	3前	2			1			1	1	0									
	医療情報学	2前	1						1	1	0									
小計 (4科目)		-	6	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
放射線安全管理学	放射線安全管理学	3前	2								3								1	
	放射線安全管理学実習	3後	1								2							0	2	4
	関係法規	3前	1								2							1		
小計 (3科目)		-	4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	0	4
医療安全管理学	医療安全管理学	3前	2								3	3	0	2						
	医療安全管理学実習	3後	1								3	3	1	1						1
小計 (2科目)		-	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3	1	2	0	0	0	0	0	1
実習臨床	臨床実習	3後	12								4	3	1	3						
	小計 (1科目)	-	12	0	0	0	0	0	0	0	4	3	1	3	0					
総合・発展技術	医療コミュニケーション	1後		1		1														
	臨床基礎実習	3後	1			3	1	3	1				7	4	1	3				
	IPW (多職種連携) 論	3後	1			3							3							2
	死亡時画像診断学(オートブシー・イメージング)	4前		1									1							3
	放射線カウンセリング学	4前		1			1						1							
	災害医療学	4前		1		1							1							3
	メディカルデータサイエンス	4前		1		3	1	1					3	1	1					0
	先進医学・技術学	4前		1									2	1		1				3
	医療経済・経営学	4前		1		1							1							1
	医療文献読解	4前	1			3		1	1				3	1	0	1				1
	アカデミックプレゼンテーション	4前		1		2	1						2	1						
	診療放射線技術学総合演習Ⅰ	4前		1		4	2	3	1				7	4	1	3				4
	診療放射線技術学総合演習Ⅱ	4後	2			4	2	3	1				7	4	1	3				4
	国際保健医療活動Ⅰ	4前		1									1							4
	国際保健医療活動Ⅱ	4前		1									1							5
	卒業研究	4通	4			4	3	3					7	4	1	3				
小計 (16科目)		-	10	10	0	7	3	3	1	0	0	0	7	4	1	3	0	0	0	23
合計 (133科目)		-	113	53	4	7	3	3	1	0	0	0	7	4	1	3	0	0	0	123
卒業要件及び履修方法																				
必修科目113単位、選択科目11単位以上 合計124単位以上修得しなければならない。																				

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	その他	専任	准専任	非常勤	助教	助手	
学 び の 始 め	まなぶる▶ときわびとⅠ	1前	2			1	1	1	3			20
	まなぶる▶ときわびとⅡ	1後	1			1	1	3			17	
	大学道場miniゼミA	1前		1		3	0				17	
	大学道場miniゼミB	1後		1		2	0				14	
	小計(4科目)	-	3	2	0	5	1	1	3	0	64	
人 間 探 究 科 目 群	情報基礎	1前	1					0		1		6
	情報メディア演習	1後	1					1				5
	健康スポーツ科学Ⅰ	1前		1								5
	健康スポーツ科学Ⅱ	1前		1								2
	健康スポーツ科学Ⅲ	1後	1									2
	アカデミックライティング	1後	1									3
	コミュニケーション論	1前	1			1						
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1			1						
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1									1
	英語Aa (Communicative English Basic)	1前		1								2
	英語Ab (Communicative English Intermediate)	1後		1								2
	英語Ac (Communicative English Advanced)	3前		1								1
	英語B (Presentation Skills)	2前		1		0						1
	英語C (Current Issues)	2後		1								1
	手話コミュニケーション	1前		1								1
	多文化コミュニケーション	1後		1								1
	いのちと共生	1後		1								7
	人類と地球環境	1前		1								1
	暮らしの中の数学	1前		1			0					1
	基礎統計学	1前	1				0					1
	暮らしの中の物理学	1前		1	1							1
	現代社会と化学	1前		1								6
	人体のふしぎ	1前		1								1
	現代社会と生命科学	1前		1								1
	安全学	1前		1								7
	人類と農学	1前		1								1
	プログラミング入門	1後		1			1					1
	日本国憲法	1前		2								1
	哲学と倫理	1前		1								1
	生命と倫理	1後	1									1
	芸術文化論	1前		1		1	0					1
	文学	1前		1								1
	日本通史	1前		1								1
	国際社会論	1後		1								2
	現代社会学	1前		1								1
	政治学	1後		1								1
	経済学	1前		1								1
	組織マネジメント論	1後		1								1
	心理臨床学	1後		1								1
	人間関係論	1前		1								1
	教育と人間	1前		1								4
	災害とまちづくり	1前		1								2
	国際理解	1前		1				1				10
	科学技術論	1後		1								3
	小計(44科目)	-	9	35	1	3	2	1	1	0	53	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	その他	専任	准専任	非常勤	助教	助手		
学 び の 始 め	まなぶる▶ときわびとⅠ	1前	2				2	2	1			23	
	まなぶる▶ときわびとⅡ	1後	1				2	2	1			13	
	大学道場miniゼミA	1前		1		3	0					16	
	大学道場miniゼミB	1後		1		2	0					11	
	超ときわびと	1後		1			1					1	
	小計(5科目)	-	3	3	0	3	2	2	1	0	49		
人 間 探 究 科 目 群	情報基礎	1前	1				1						
	情報メディア演習	1後	1									1	
	健康スポーツ科学Ⅰ	1前		1								5	
	健康スポーツ科学Ⅱ	1前		1								2	
	健康スポーツ科学Ⅲ	1後	1									2	
	アカデミックライティング	1後	1									2	
	コミュニケーション論	1前	1			1							
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1			1							
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1									1	
	英語Aa (Communicative English Basic)	1前		1								2	
	英語Ab (Communicative English Intermediate)	1後		1								2	
	英語B (Presentation)	2-3-4前		1			1						
	英語C (Cultural Studies)	2-3-4後		1								1	
	英語D (Academic English)	3-4前		1			1						
	人 間 探 究 科 目 群	手話コミュニケーション	1前		1								1
	いのちと共生	1後		1									7
	人類と地球環境	1前		1									1
	暮らしの中の数学	1前		1									1
	基礎統計学	1前	1										1
	暮らしの中の物理学	1前		1	1								1
	現代社会と化学	1前		1									6
	人体のふしぎ	1前		1									1
	現代社会と生命科学	1前		1									1
	安全学	1前		1									7
	人類と農学	1前		1									1
	プログラミング入門	1後		1			1						1
	日本国憲法	1前		2									1
	生命と倫理	1前		2									1
	芸術文化論	1前		1				1	1				1
	文学	1前		1									1
	日本通史	1前		1									1
	国際社会論	1後		1									2
	現代社会学	1前		1									1
	政治学	1後		1									1
	経済学	1前		1									1
	組織マネジメント論	1後		1									1
	心理臨床学	1後		1									1
	人間関係論	1前		1									1
教育と人間	1前		1									4	
災害とまちづくり	1前		1									2	
国際理解	1前		1									10	
科学技術論	1後		1									3	
	小計(38科目)	-	9	31	1	4	2	0	0	0	44		
創 造 実 践 科 目 群	地域との協働A	1前		1								4	
	地域との協働B	2-3-4前		1					1			3	
	災害とまちづくり	1前		1								1	
	コミュニティデザイン	1前		1					1			4	
	ライフデザイン	1前		1								1	
	小計(5科目)	-	0	5	0	0	1	1	0	0	11		
	医学概論	1前	1				1						

創造実践科目群	地域との協働A	1通	1							4	
	地域との協働B	2通	1			1	0			3	
	コミュニティデザイン	1後	1			0				3	
	プロジェクトデザイン	2通	1							1	
	超ときわびと	2通	1							1	
小計 (5科目)		—	0	5	0	0	1	0	0	0	12
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	医学概論	1前	1			1					1
	解剖学 I	1前	2								1
	解剖学 II	1後	2								1
	基礎生物学	1前			1						1
	基礎化学	1前			1						1
	生理学	1後	2			1					2
	病理学	2前	1								1
	腫瘍学	2前	1			1					1
	生化学	1後	1								1
	薬理学	2前	1								1
	公衆衛生学	1後	1								1
	臨床技術入門	1後	1			1	2	0			3
	小計 (12科目)		—	13	0	2	2	2	0	0	0
保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	放射線科学概論	1前	1			3	1				1
	診療放射線技術学概論	1前	1			3	2	1			
	放射線生物学 I	2前	1					1			
	放射線生物学 II	2後	1					1			
	放射線物理学 I	1後	1			1					
	放射線物理学 II	2前	1			1					
	放射化学 I	1後	1			1			1		0
	放射化学 II	2前	1			1					0
	医用工学 I (電気工学)	1前	1					1			
	医用工学 II (電子工学)	1後	1					1			
	医用工学実習	2前	1			1		1			1
	基礎数学	1前			1			1			
	応用数学	1後	2					1			
	医用機器概論	3前			1						1
	放射線計測学	2前	2			1					
	放射線計測学実習	2後	1			4	2	2	2		1
	救急医学概論	3後	1					1			
	対人援助論	1後	1								1
	医療英語	2後	1					1			
小計 (19科目)		—	19	1	1	6	3	2	2	0	5
診療画像技術学	X線撮影技術学 I (一般撮影)	2前	2					1	1		
	X線撮影技術学 II (透視・造影検査)	2後	2					1			
	X線撮影技術学 III (CT)	2後	2			1					
	診療画像検査学 I (MR)	2後	2			1	0				
	診療画像検査学 II (超音波・眼底)	2後	2								2
	診療画像技術学実習	3前	1			1	1	2	2		0
	画像診断機器学 I	2前	2								1
	画像診断機器学 II	2前	2								1
	画像診断機器学実習 I	2後	1			1		1			4
	画像診断機器学実習 II	3前	1					1	3		4
小計 (10科目)		—	17	0	0	2	2	2	3	0	5
画像診断学	画像解剖学	3前	1			1	1	1			
	画像解剖学演習	3前	1					1	1		
	画像診断学 I (頭部、頸部、脊髄)	3前	1			1					0
	画像診断学 II (胸部、心大血管、消化器他)	3前	1			1					0
小計 (4科目)		—	4	0	0	1	0	1	2	0	0
核医学検査技術学	核医学検査技術学 I	2前	2					1			
	核医学検査技術学 II	2後	2					1			
	核医学検査機器学	3前	1					1			
核医学機能解析学	3前	1					1				
小計 (4科目)		—	6	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線治療技術学	放射線治療技術学 I	3前	2					1			
	放射線治療技術学 II	3前	2					1			
	放射線治療計測学	3前	1					1			
	放射線治療機器学	2後	1					1			
放射線治療物理学	2後	1					1				
小計 (5科目)		—	7	0	0	1	0	0	0	0	0

人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖学 I	1前	2								1
	解剖学 II	1後	2								1
	基礎生物学	1前				1					1
	基礎化学	1前				1					1
	生理学	1後	2					1			
	病理学	2前	1								2
	腫瘍学	2前	1					1			
	生化学	1後	1								1
	薬理学	2前	1								1
	公衆衛生学	1後	1								1
	臨床技術入門	1後	1					1	1	1	3
	小計 (12科目)		—	13	0	2	2	1	1	0	0
保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	放射線科学概論	1前	1					2			2
	診療放射線技術学概論	1前	1						1		
	放射線生物学 I	2前	1						1		
	放射線生物学 II	2後	1						1		
	放射線物理学 I	1後	1								
	放射線物理学 II	2前	1					1			
	放射化学 I	1後	1								1
	放射化学 II	2前	1								1
	医用工学 I (電気工学)	1前	1					1			
	医用工学 II (電子工学)	1後	1					1			
	医用工学実習	2後	1					1			1
	基礎数学	1前				1			1		
	応用数学	1後	2						1		
	医用機器概論	3前									1
	放射線計測学	2前	2								
	放射線計測学実習	2後	1								
	救急医学概論	3後	1						3	1	1
	対人援助論	1後	1						1		1
	医療英語	2後	1						1		
小計 (19科目)		—	19	1	1	5	3	2	1	0	6
診療画像技術学	X線撮影技術学 I (一般撮影)	2前	2						1		
	X線撮影技術学 II (透視・造影検査)	2後	2						1		
	X線撮影技術学 III (CT)	2後	2					1			
	診療画像検査学 I (MR)	2後	2						1		
	診療画像検査学 II (超音波・眼底)	2後	2								2
	診療画像技術学実習	3前	1						1	2	1
画像診断機器学 I	2前	2								1	
画像診断機器学 II	2前	2								1	
画像診断機器学実習 I	2後	1						1		5	
画像診断機器学実習 II	3前	1						1	1	4	
小計 (10科目)		—	17	0	0	0	1	3	2	0	6
画像診断学	画像解剖学	3前	1						1	1	
	画像解剖学演習	3前	1						1	1	
	画像診断学 I (頭部、頸部、脊髄)	3前	1								4
	画像診断学 II (胸部、心大血管、消化器他)	3前	1								4
小計 (4科目)		—	4	0	0	0	0	1	0	0	7
核医学検査技術学	核医学検査技術学 I	2前	2					1			
	核医学検査技術学 II	2後	2					1			
	核医学検査機器学	3前	1					1			
核医学機能解析学	3前	1					1				
小計 (4科目)		—	6	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線治療技術学	放射線治療技術学 I	3前	2					1			
	放射線治療技術学 II	3前	2					1			
	放射線治療計測学	3前	1					1			
	放射線治療機器学	2後	1					1			
放射線治療物理学	2後	1					1				
小計 (5科目)		—	7	0	0	1	0	0	0	0	0

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			心 理	志 望	自 治	他 者	教 授	准 教 授	講 義	助 手	他 者		
学 科 目 の 始 め	まなぶる▶ときわびとⅠ	1前	2				1	2	1				23
	まなぶる▶ときわびとⅡ	1後	1				1	2	1				14
	大学道場miniゼミA	1前		1			2	0					15
	大学道場miniゼミB	1後		1			1	1					10
	超ときわびと	1後		1				1					1
	小計(5科目)	-	3	3	0	2	3	1	0	0			50
人 間 探 究 科 目 群	情報基礎	1前	1					1					
	情報メディア演習	1後	1										1
	健康スポーツ科学Ⅰ	1前		1									5
	健康スポーツ科学Ⅱ	1前		1									4
	健康スポーツ科学Ⅲ	1後		1									2
	アカデミックライティング	1後	1										2
	コミュニケーション論	1後	1			1							
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1			1							
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1										1
	英語Aa (Communicative English Basic)	1後		1									2
	英語Ab (Communicative English Intermediate)	1後		1									2
	英語B (Presentation)	2・3・4前		1		1							
	英語C (Cultural Studies)	2・3・4後		1									1
	英語D (Academic English)	3・4前		1		1							
	手話コミュニケーション	1後		1									1
	いのちと共生	1後		1									7
	人類と地球環境	1前		1									1
	暮らしの中の数学	1後		1				1					
	統計学	1後	1					1					1
	暮らしの中の物理学	1後			1								1
	現代社会と化学	1後		1									1
	人体のふしぎ	1後		1			1						4
	現代社会と生命科学	1後		1									1
	安全学	1後		1									7
	人類と農学	1後		1									1
	プログラミング入門	1後		1				1					
	日本国憲法	1後		2									1
	哲学	1後		1									1
	生命と倫理	1後	2										1
	芸術文化論	1後		1		1	1						
	文学	1後		1									1
	日本通史	1後		1									1
	世界の時事	1後		1									1
	現代社会学	1後		1									1
	経済学	1後		1									1
	心理臨床学	1後		2									1
	人間関係論	1後		1									1
	教育と人間	1後		1									4
	小計(38科目)	-	9	31	1	2	2	0	0	0			46
創 造 実 践 科 目 群	地域との協働A	1後		1									4
	地域との協働B	2・3・4前		1									2
	災害とまちづくり	1後		1									2
	コミュニティデザイン	1後		1			1						4
	ライフデザイン	1後		1									1
	小計(5科目)	-	0	5	0	0	1	0	0	0			12

人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	医学概論	1前	1			1														
	解剖学 I	1前	2																	1
	解剖学 II	1後	2																	1
	基礎生物学	1前			1															1
	基礎化学	1前			1															1
	生理学	1後	2				1													
	病理学	2前	1																	1
	腫瘍学	2前	1				1													
	生化学	1後	1																	1
	薬理学	2前	1																	1
	公衆衛生学	1後	1																	1
	臨床技術入門	1後	1				1	1		1										3
小計 (12科目)			13	0	2	2	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
保健医療福祉に放射線の科学及び技術	放射線科学概論	1前	1				2													2
	診療放射線技術学概論	1前	1							1										
	放射線生物学 I	2前	1							1										
	放射線生物学 II	2後	1							1										
	放射線物理学 I	1後	1			1														
	放射線物理学 II	2前	1			1														
	放射化学 I	1後	1																	1
	放射化学 II	2前	1																	1
	医用工学 I (電気工学)	1前	1					1												
	医用工学 II (電子工学)	1後	1						1											
	医用工学実習	2後	1						1											1
	基礎数学	1前			1				1											
	応用数学	1後	2						1											
	医用機器概論	3前		1																1
	放射線計測学	2前	2				1													
放射線計測学実習	2後	1				3													1	
救急医学概論	3後	1						1												
対人援助論	1後	1																	1	
医療英語	2後	1				1														
小計 (19科目)			19	1	1	5	3		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
診療画像技術学	X線撮影技術学 I (一般撮影)	2前	2						1											
	X線撮影技術学 II (透視・造影検査)	2後	2						1											
	X線撮影技術学 III (CT)	2後	2				1													
	診療画像検査学 I (MR)	2後	2						1											
	診療画像検査学 II (超音波・眼底)	2後	2																	1
	診療画像技術学実習	3前	1					1	2	1										1
	画像診断機器学 I	2前	2																	1
	画像診断機器学 II	2前	2																	1
	画像診断機器学実習 I	2後	1				1													5
	画像診断機器学実習 II	3前	1				1			1										4
小計 (10科目)			17	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
画像診断学	画像解剖学	3前	1						1											
	画像解剖学演習	3前	1						1											
	画像診断学 I (頭部、頸部、脊髄)	3前	1																	4
	画像診断学 II (胸部、心大血管、消化器他)	3前	1																	4
	小計 (4科目)			4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
核医学検査	核医学検査技術学 I	2前	2				1													
	核医学検査技術学 II	2後	2				1													
	核医学検査機器学	3前	1				1													
	核医学機能解析学	3前	1				1													
	小計 (4科目)			6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
放射線治療	放射線治療技術学 I	3前	2				1													
	放射線治療技術学 II	3前	2				1													
	放射線治療計測学	3前	1				1													
	放射線治療機器学	2後	1				1													
	放射線治療物理学	2後	1				1													
	小計 (5科目)			7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【令和3年度】

- ・教育効果に配慮し、「まなぶる▶ときわびとⅠ」専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師1」から「教授0、准教授2、講師2、助教1」へ変更。
- ・教育効果に配慮し、「まなぶる▶ときわびとⅡ」専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師1」から「教授0、准教授2、講師2、助教1」へ変更。
- ・教育効果に配慮し、「大学道場miniゼミA」専任教員等の配置を「教授2、准教授0」から「教授3、准教授0」へ変更。
- ・教育効果に配慮し、「大学道場miniゼミB」専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2、准教授0」へ変更。
- ・教育効果に配慮し、「健康スポーツ科学Ⅱ」兼任・兼任教員の配置を「兼4」から「兼2」に変更。
- ・担当教員の都合により、「暮らしの中の物理学」担当教員を兼任・兼任教員から専任教員へ変更。
- ・教育効果を高めるため、「人体のふしぎ」兼任・兼任教員の配置を「兼4」から「兼6」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「地域との協働B」専任教員の配置を「講師1」へ変更。併せて、兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教育効果に配慮し、「災害とまちづくり」兼任・兼任教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「病理学」兼任・兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「放射線計測学実習」専任教員の配置を「教授3」から「教授3、准教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「診療画像検査学Ⅱ（超音波・眼底）」兼任・兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「画像診断機器学実習Ⅰ」専任教員の配置を「准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「画像解剖学」専任教員の配置を「講師1」から「講師1、助教1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「画像解剖学演習」専任教員の配置を「講師1」から「講師1、助教1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「放射線安全管理学実習」専任教員の配置を「教授3、講師1」から「教授3、講師1、助教1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「医療安全管理学」専任教員の配置を「講師1」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「医療安全管理学実習」専任教員の配置を「教授1、講師2、助教1」から「教授2、講師2、助教2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「臨床実習」専任教員の配置を「教授3、准教授1、講師3、助教1」から「教授3、准教授1、講師3、助教2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「臨床基礎実習」専任教員の配置を「教授3、准教授1、講師3、助教1」から「教授3、准教授1、講師3、助教2」に変更に変更。
- ・教育効果を高めるため、「診療放射線技術学総合演習Ⅰ」専任教員の配置を「教授4、准教授2、講師3、助教1」から「教授4、准教授2、講師3、助教2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「診療放射線技術学総合演習Ⅱ」専任教員の配置を「教授4、准教授2、講師3、助教1」から「教授4、准教授2、講師3、助教2」に変更。

【令和4年度】

- ・教育効果に配慮し、「まなぶる」ときわびとⅠ専任教員等の配置を「教授0、准教授2、講師2、助教1」から「教授1、准教授1、講師1、助教3」へ変更。併せて、兼任・兼担教員の配置を「兼23」から「兼20」に変更。
- ・教育効果に配慮し、「まなぶる」ときわびとⅡ専任教員等の配置を「教授0、准教授2、講師2、助教1」から「准教授1、講師1、助教3」へ変更。併せて、兼任・兼担教員の配置を「兼13」から「兼17」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「大学道場miniゼミA」の兼任・兼担教員の配置を「兼16」から「兼17」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「大学道場miniゼミB」の兼任・兼担教員の配置を「兼11」から「兼14」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「情報基礎」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」へ変更。併せて、兼任・兼担教員の配置を「兼6」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「情報メディア演習」の専任教員等の配置を「准教授1」へ変更。併せて、兼任・兼担教員の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
- ・教育改革に伴い、「健康スポーツ科学Ⅲ」を必修科目に変更。
- ・教育効果を高めるため、「アカデミックライティング」の兼任・兼担教員の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・担当教員の都合により、「暮らしの中の数学」の担当教員を専任教員から兼任・兼担教員へ変更。
- ・担当教員の都合により、「基礎統計学」の担当教員を専任教員から兼任・兼担教員へ変更。
- ・担当教員の昇任により、「地域との協働B」の担当教員を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「臨床技術入門」の担当教員を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「放射線科学概論」の専任教員の配置を「教授2」から「教授3、講師1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「診療放射線技術学概論」の専任教員の配置を「講師1」から「教授3、准教授2、講師1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「放射化学Ⅰ」、「放射化学Ⅱ」の担当教員を兼任・兼担教員から専任教員へ変更。
- ・教育効果を高めるため、「医用工学実習」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。併せて、配当年次を「2後」から「2前」へ変更。
- ・教育効果を高めるため、「放射線計測学実習」の専任教員の配置を「教授3、准教授1、助教1」から「教授4、准教授2、講師2、助教2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「X線撮影技術学Ⅰ（一般撮影）」の専任教員の配置を「講師1」から「講師1、助教1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「診療画像検査学Ⅰ（MR）」の担当教員を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「診療画像技術学実習」の専任教員の配置を「准教授1、講師2、助教1」から「教授1、准教授1、講師2、助教2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「画像診断機器学実習Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授1、助教1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。併せて、兼任・兼担教員の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「画像診断機器学実習Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授1、助教1」から「准教授1、助教3」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「画像解剖学」の専任教員の配置を「准教授1、講師1」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「画像診断学Ⅰ（頭部、頸部、脊髄）」、「画像診断学Ⅱ（胸部、心大血管、消化器他）」の担当教員を兼任・兼担教員から専任教員へ変更。
- ・教育効果を高めるため、「核医学検査技術学Ⅰ」、「核医学検査機器学」、「核医学機能解析学」の専任教員の配置を「教授1」から「教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「放射線治療技術学Ⅰ」に兼任・兼担教員2名を追加。
- ・担当教員の昇任により、「医用画像工学実習」の担当教員を「教授1、講師1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「医療情報学」の担当教員を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「放射線安全管理学」の専任教員の配置を「教授1」から「教授3」に変更。
- ・教育効果に配慮し、「放射線安全管理学実習」の専任教員等の配置を「教授3、講師1、助教1」から「教授2、助教1」へ変更。
- ・教育効果を高めるため、「医療安全管理学」の専任教員の配置を「教授2、准教授1」から「教授3、准教授2、講師1、助教2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「医療安全管理学実習」の専任教員の配置を「教授2、講師1、助教2」から「教授2、講師2、助教1」に変更。併せて、兼任・兼担教員の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「臨床実習」の専任教員の配置を「教授3、准教授1、講師3、助教2」から「教授4、准教授2、講師2、助教3」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「臨床基礎実習」の専任教員の配置を「教授3、准教授1、講師3、助教2」から「教授7、准教授3、講師2、助教3」に変更。
- ・教育効果に配慮し、「IPW（多職種連携）論」の兼任・兼担教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「診療放射線技術学総合演習Ⅰ」、「診療放射線技術学総合演習Ⅱ」の担当教員を「教授4、准教授2、講師3、助教2」から「教授4、准教授3、講師2、助教2」に変更。
- ・担当教員の都合により、「卒業研究」の専任教員の配置を「教授4、准教授3、講師3」から「教授4、准教授3、講師2」に変更。

■科目の変更について

- ◎「英語Ac (Communicative English Advanced)」を新規追加。
- ◎「英語B (Presentation)」を「英語B (Presentation Skills)」に変更。
- ◎「英語C (Cultural Studies)」を「英語C (Current Issues)」に変更。
- ◎「英語D (Academic English)」を廃止。
- ◎「統計学」を「基礎統計学」を名称変更。
- ◎「哲学」を「哲学と倫理」に名称変更。
- ◎「世界の時事」を「国際社会論」に名称変更。
- ◎「政治学」を新設。科目担当者は、
- ◎「組織マネジメント論」を新設。
- ◎「国際理解」を新設。
- ◎「科学技術論」を新設。

■配当年次の変更

- ◎「コミュニケーション論」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「英語Aa (Communicative English Basic)」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「英語Ab (Communicative English Intermediate)」【1・2・3・4後】を【1後】に変更。
- ◎「手話コミュニケーション」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「暮らしの中の数学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「基礎統計学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「暮らしの中の物理学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「現代社会と化学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「人体のふしぎ」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「現代社会と生命科学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「安全学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「人類と農学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「プログラミング入門」【1・2・3・4後】を【1後】に変更。
- ◎「日本国憲法」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「哲学と倫理」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「生命と倫理」【1・2・3・4後】を【1後】に変更。
- ◎「芸術文化論」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「文学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「日本通史」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「国際社会論」【1・2・3・4後】を【1後】に変更。
- ◎「現代社会学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「経済学」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「心理臨床学」【1・2・3・4後】を【1後】に変更。
- ◎「人間関係論」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「教育と人間」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「災害とまちづくり」【1・2・3・4前】を【1前】に変更。
- ◎「地域との協働A」【1・2・3・4通】を【1通】に変更。
- ◎「地域との協働B」【1・2・3・4通】を【2通】に変更。
- ◎「コミュニティデザイン」【1・2・3・4後】を【1後】に変更。
- ◎「プロジェクトデザイン」【1・2・3・4後】を【2通】に変更。
- ◎「超ときわびと」【1後】を【2通】に変更。

■科目区分変更

- ◎「超ときわびと」を【学びの始め科目群】から【創造実践科目群】に変更。
- ◎「災害とまちづくり」を【創造実践科目群】から【人間探求科目群】に変更。

【令和5年度】

- ・教育効果に配慮し、「まなぶる▶ときわびとⅠ」専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師1、助教3」から「教授0、准教授1、講師0、助教3」へ変更。併せて、兼任・兼任教員の配置を「兼20」から「兼23」に変更。
- ・教育効果に配慮し、「まなぶる▶ときわびとⅡ」専任教員等の配置を「准教授1、講師1、助教3」から「准教授1、講師0、助教3」へ変更。併せて、兼任・兼任教員の配置を「兼17」から「兼20」に変更。
- ・教育効果に配慮し、「大学道場miniゼミA」専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」へ変更。併せて、兼任・兼任教員の配置を「兼17」から「兼11」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「大学道場miniゼミB」専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」へ変更。併せて、兼任・兼任教員の配置を「兼14」から「兼11」に変更。
- ・教育効果に配慮し、「情報基礎」専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」へ変更。併せて、兼任・兼任教員の配置を「兼6」から「兼3」に変更。
- ・教育効果に配慮し、「情報メディア演習」兼任・兼任教員の配置を「兼5」から「兼2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「英語B (Presentation Skills)」兼任・兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育効果に配慮し、「安全学」兼任・兼任教員の配置を「兼7」から「兼6」に変更。
- ・教育効果に配慮し、「教育と人間」兼任・兼任教員の配置を「兼4」から「兼3」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「国際理解」兼任・兼任教員の配置を「兼10」から「兼11」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「科学技術論」専任教員等の配置を「教授1」へ変更。併せて、兼任・兼任教員の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「プロジェクトデザイン」兼任・兼任教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「診療放射線技術学概論」専任教員等の配置を「教授3、准教授2、講師1」から「教授2、准教授3、講師0、助教1」へ変更。
- ・教育効果を高めるため、「放射線計測学実習」専任教員等の配置を「教授4、准教授2、講師2、助教2」から「教授4、准教授3、講師1、助教3」へ変更。
- ・倉本卓氏の講師から准教授への昇任により、「X線撮影技術学Ⅰ（一般撮影）」、「X線撮影技術学Ⅱ（透視・造影検査）」、「診療画像技術学実習」、「画像解剖学」、「画像解剖学演習」、「臨床実習」等の教員配置を変更。
- ・教育効果を高めるため、「放射線安全管理学実習」専任教員等の配置を「教授2、助教1」から「教授2、助教2」へ変更。
- ・教育効果を高めるため、「医療安全管理学実習」専任教員等の配置を「教授2、講師2、助教1」から「教授2、准教授3、講師1、助教1」へ変更。
- ・教育効果を高めるため、「臨床基礎実習」、「診療放射線技術学総合演習Ⅰ」、「診療放射線技術学総合演習Ⅱ」、「卒業研究」専任教員等の配置を「教授7、准教授4、講師1、助教3」へ変更。
- ・教育効果を高めるため、「死亡時画像診断学（オートプシー・イメージング）」兼任・兼任教員の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「先進医学・技術学」専任教員配置を「教授2、准教授1、助教1」に変更。併せて、兼任・兼任教員の配置を「兼8」から「兼3」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「国際保健医療活動」専任教員配置を「助教1」に変更。併せて、兼任・兼任教員の配置を「兼3」から「兼4」に変更。

- (注) 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
76 科目	48 科目	4 科目	128 科目	77 科目 [1]	52 科目 [3]	4 科目 [0]	133 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	政治学	1	1後	一般	選択	授業担当適任者不在のため
2	超ときわびと	1	2通	一般	選択	授業担当適任者不在のため
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	英語D (Academic English)	1	3・4前	一般	選択	専門科目にて学習内容を補填可能なため
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目の「政治学」と「超ときわびと」について、担当者が退職し、授業担当適任者が見つからず未開講となった。同科目は、必修科目でなく、一般教養選択科目である。本年度より本学では基盤科目の充実を図るため3科目を新たに設置しており、教育に差しさわらないと考えている。学生へは履修ガイダンス時に選択可能な授業科目一覧を配布し、周知している。来年度は、開講予定であり、希望する学生については履修可能となっている。

「英語D」について、各学科の専門科目にて従来の英語Dの内容を学習できる科目を配置するため削除する。また、本科目は3年次からの開講科目であり、特に学生には周知せずとも教育には差し支えないものと判断している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{3}{128} = \boxed{2.34} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	神戸常盤大学短期大学部(必要面積: 2,100㎡) 神戸常盤大学附属ときわ幼稚園(基準なし)と共用			
	校舎敷地	0㎡	19,739.85㎡	918.21㎡	20,658.06㎡				
	運動場用地	0㎡	6,267.00㎡	0㎡	6,267.00㎡				
	小 計	0㎡	26,006.85㎡	918.21㎡	26,925.06㎡				
	そ の 他	0㎡	6,131.64㎡	0㎡	0㎡				
	合 計	0㎡	32,138.49㎡	918.21㎡	33,056.70㎡				
(2) 校 舎	専 用	0㎡	25,657.99㎡	0㎡	25,657.99㎡	神戸常盤大学短期大学部(必要面積: 2,450㎡)と共用			
	(0㎡)	(23,151.22㎡)	(0㎡)	(23,151.22㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	神戸常盤大学短期大学部と共用			
	2 1 室	3 室	2 2 室	2 室 (補助職員 0人)	1 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	保健科学部 診療放射線学科			1 4 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 ※図書22,045冊は神戸常盤大学短期大学部と共用	
	大学全体	73,986 [9,745] (73,686 [9,695])	622 [283] (615 [283])	5,237 [3,847] (5,234 [3,844])	20 (0)	1,086 (0)	15 (0)		
	計	73,986 [9,745] (73,686 [9,695])	622 [283] (615 [283])	5,237 [3,847] (5,234 [3,844])	20 (0)	1,086 (0)	15 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					大学全体	
	894㎡	138	131,000						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体		
	3,500㎡	なし							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子ジャーナル、データベース、その他経費を含む。
		教員1人当たり研究費等	400千円	400千円	図書購入費	千円	400千円	400千円	
		共同研究費等	6,000千円	6,000千円	設備購入費	千円	6,000千円	6,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,800千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、経常費補助金等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		神戸常盤大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考						
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度								
保健科学部	—	310	—	1,240	—	—	—	—	—	令和4	平成20	—	定員変更(10)(編入学▲5)						
診療放射線学科	4	75	—	300	学士(診療放射線学)	1.14	—	1.08	—	令和2	令和2	兵庫県神戸市長田区大田町2-5-2							
医療検査学科	4	80	—	320	学士(医療検査学)	1.10	—	1.09	—	—	平成20	同上							
看護学科	4	85	—	340	学士(看護学)	1.12	—	1.10	—	令和4	平成20	同上							
口腔保健学科	4	70	—	280	学士(口腔保健学)	0.95	—	0.95	—	令和4	令和4	同上							
教育学部	—	80	—	320	—	—	—	—	—	—	平成27	—							
こども教育学科	4	80	—	320	学士(教育学)	1.05	—	1.04	—	—	平成27	兵庫県神戸市長田区大田町2-5-2							
大学全体	—	390	—	1,560	—	—	—	—	—	—	—	—							

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「—」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<保健科学部 診療放射線学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和2年度】		【令和3年度】		【令和4年度】		【令和5年度】	
専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等								
専任	松田 正文 (78) <令和2年4月> 医学士	専任	松田 正文 (79) <令和2年4月> 医学士	専任	松田 正文 (80) <令和2年4月> 医学士	専任	松田 正文 (81) <令和2年4月> 医学士	専任	松田 正文 (82) <令和2年4月> 医学士
専任	今井 方丈 (64) <令和2年4月> 学士(保健衛生学)	専任	今井 方丈 (65) <令和2年4月> 学士(保健衛生学)	専任	今井 方丈 (66) <令和2年4月> 学士(保健衛生学)	専任	今井 方丈 (67) <令和2年4月> 学士(保健衛生学)	専任	今井 方丈 (68) <令和2年4月> 学士(保健衛生学)
専任	谷口 英明 (63) <令和2年4月> 文学士	専任	谷口 英明 (64) <令和2年4月> 文学士	専任	谷口 英明 (65) <令和2年4月> 文学士	専任	谷口 英明 (66) <令和2年4月> 文学士	専任	谷口 英明 (67) <令和2年4月> 文学士
専任	山崎 麻由美 (58) <令和2年4月> Master of Education in TESOL (米国)	専任	山崎 麻由美 (59) <令和2年4月> Master of Education in TESOL (米国)	専任	山崎 麻由美 (60) <令和2年4月> Master of Education in TESOL (米国)	専任	山崎 麻由美 (66) <令和2年4月> Master of Education in TESOL (米国)	専任	山崎 麻由美 (67) <令和2年4月> Master of Education in TESOL (米国)
専任	南 利明 (52) <令和3年4月> 修士(医療科学)	専任	南 利明 (53) <令和3年4月> 修士(医療科学)	専任	南 利明 (54) <令和3年4月> 修士(医療科学)	専任	南 利明 (55) <令和3年4月> 修士(医療科学)	専任	南 利明 (56) <令和3年4月> 修士(医療科学)
専任	高久 圭二 (54) <令和2年4月> 博士(理学)	専任	高久 圭二 (55) <令和2年4月> 博士(理学)	専任	高久 圭二 (56) <令和2年4月> 博士(理学)	専任	高久 圭二 (57) <令和2年4月> 博士(理学)	専任	高久 圭二 (58) <令和2年4月> 博士(理学)
専任	對間 博之 (48) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任	對間 博之 (48) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任	對間 博之 (49) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任	對間 博之 (50) <令和3年4月> 博士(保健学)	専任	對間 博之 (51) <令和3年4月> 博士(保健学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	井本 しおん (64) <令和2年4月> 博士(医学)									
		人体のふしぎ									
兼任	教授	林 伸英 (62) <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	林 伸英 (63) <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	林 伸英 (64) <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	林 伸英 (65) <令和2年4月> 博士(医学)
		大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA
兼任	教授	柳倉 匠文 (61) <令和2年4月> 医学博士	兼任	教授	柳倉 匠文 (62) <令和2年4月> 医学博士	兼任	教授	柳倉 匠文 (63) <令和2年4月> 医学博士	兼任	教授	柳倉 匠文 (64) <令和2年4月> 医学博士
		大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA
											大学道場miniゼミB
									兼任	教授	兼田 敬博 (65) <令和5年4月> 博士(医学)
											大学道場miniゼミA 生化学
兼任	教授	松元 英理子 (60) <令和2年9月> 博士(医学)	兼任	教授	松元 英理子 (61) <令和2年9月> 博士(医学)	兼任	教授	松元 英理子 (62) <令和2年9月> 博士(医学)	兼任	教授	松元 英理子 (63) <令和2年9月> 博士(医学)
		大学道場miniゼミB 現代社会と生命科学			大学道場miniゼミB 現代社会と生命科学 基礎生物学			大学道場miniゼミB 現代社会と生命科学 基礎生物学			大学道場miniゼミB 現代社会と生命科学 基礎生物学
兼任	教授	新谷 路子 (55) <令和2年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	新谷 路子 (56) <令和2年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	新谷 路子 (57) <令和2年4月> 博士(保健学)	兼任	教授	新谷 路子 (58) <令和2年4月> 博士(保健学)
		大学道場miniゼミA 人体のふしぎ			大学道場miniゼミA 人体のふしぎ			大学道場miniゼミA 人体のふしぎ			大学道場miniゼミA 人体のふしぎ
兼任	教授	津田 浩秀 (55) <令和2年4月> 博士(医学)									
		大学道場miniゼミA 生化学									
兼任	教授	大澤 佳代 (54) <令和4年9月> 博士(保健学)	兼任	教授	大澤 佳代 (55) <令和4年9月> 博士(保健学)	兼任	教授	大澤 佳代 (56) <令和4年9月> 博士(保健学)	兼任	教授	大澤 佳代 (57) <令和4年9月> 博士(保健学)
		IPW(多職種連携)論			IPW(多職種連携)論			IPW(多職種連携)論			IPW(多職種連携)論
											大学道場miniゼミA
兼任	教授	布引 治 (54) <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	布引 治 (55) <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	布引 治 (56) <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	布引 治 (57) <令和2年4月> 博士(医学)
		大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA			大学道場miniゼミA
兼任	教授	鈴木 高史 (51) <令和2年4月> 博士(第二基礎医学)	兼任	教授	鈴木 高史 (52) <令和2年4月> 博士(第二基礎医学)	兼任	教授	鈴木 高史 (53) <令和2年4月> 博士(第二基礎医学)	兼任	教授	鈴木 高史 (54) <令和2年4月> 博士(第二基礎医学)
		大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB 国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ			大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB 国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ			大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB 国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ			大学道場miniゼミA 大学道場miniゼミB 国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ
											国際保健 医学教育論
											伊藤 雅喜 (61) <令和5年4月> 博士(人間健康科学)
									兼任	教授	まなぶる」ときわびとⅠ 人体のふしぎ
兼任	教授	長尾 厚子 (71) <令和2年9月> 修士(人間科学)	兼任	教授	長尾 厚子 (72) <令和2年9月> 修士(人間科学)	兼任	教授	長尾 厚子 (73) <令和2年9月> 修士(人間科学)			
		いのちと共生			いのちと共生			いのちと共生			
兼任	教授	岩越 美恵 (69) <令和2年4月> 医学博士	兼任	教授	岩越 美恵 (70) <令和2年4月> 医学博士	兼任	教授	岩越 美恵 (71) <令和2年4月> 医学博士	兼任	教授	岩越 美恵 (72) <令和2年4月> 医学博士
		大学道場miniゼミB 健康スポーツ科学Ⅰ 人体のふしぎ			大学道場miniゼミB 健康スポーツ科学Ⅰ 人体のふしぎ			大学道場miniゼミB 健康スポーツ科学Ⅰ 人体のふしぎ			大学道場miniゼミB 健康スポーツ科学Ⅰ 人体のふしぎ
兼任	教授	畑 吉郎夫 (64) <令和2年4月> 博士(保健学)									
		大学道場miniゼミA									
兼任	教授	柳本 有二 (62) <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	柳本 有二 (63) <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	柳本 有二 (64) <令和2年4月> 博士(医学)			
		大学道場miniゼミA 健康スポーツ科学Ⅰ 健康スポーツ科学Ⅱ 健康スポーツ科学Ⅲ			大学道場miniゼミA 健康スポーツ科学Ⅰ 健康スポーツ科学Ⅱ 健康スポーツ科学Ⅲ			大学道場miniゼミA 健康スポーツ科学Ⅰ 健康スポーツ科学Ⅱ 健康スポーツ科学Ⅲ			健康スポーツ科学Ⅰ 人体のふしぎ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等												
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	准教授	坊垣 美也子 (61) <令和2年9月> 博士(医学) 大学道場miniゼミB 生化学	兼任	准教授	坊垣 美也子 (62) <令和2年9月> 博士(医学) 大学道場miniゼミB 生化学	兼任	准教授	坊垣 美也子 (63) <令和2年9月> 博士(医学) 大学道場miniゼミB 生化学	兼任	准教授	坊垣 美也子 (64) <令和2年9月> 博士(医学) 大学道場miniゼミB 生化学			
兼任	准教授	岡岡 知鶴 (62) <令和2年4月> 修士(臨床看護学) 大学道場miniゼミA	兼任	准教授	岡岡 知鶴 (63) <令和2年4月> 修士(臨床看護学) 大学道場miniゼミA						兼任	准教授	浦 みどり (48) <令和5年4月> 博士(保健学) 診療看護学II(臨床・看護) 臨床看護学実習II 診療看護学実習I 診療看護学実習II	
兼任	准教授	魚崎 須美 (59) <令和2年9月> 修士(地域看護学) 大学道場miniゼミB	兼任	准教授	魚崎 須美 (60) <令和2年9月> 修士(地域看護学) 大学道場miniゼミB	兼任	准教授	魚崎 須美 (61) <令和2年9月> 修士(地域看護学) 大学道場miniゼミA	兼任	教授	魚崎 須美 (62) <令和2年9月> 修士(地域看護学) 大学道場miniゼミA	兼任	教授	魚崎 須美 (63) <令和2年9月> 修士(地域看護学) 大学道場miniゼミA
兼任	准教授	藤原 桜 (56) <令和2年4月> 修士(看護学) まなぶらとさわびとI							兼任	准教授	藤原 桜 (60) <令和2年4月> 修士(看護学) 国際理解	兼任	准教授	藤原 桜 (60) <令和2年4月> 修士(看護学) 国際理解
兼任	准教授	黒野 利佐子 (54) <令和2年9月> Master of Science in Nursing (米国) 国際保健医療活動II 大学道場miniゼミB	兼任	准教授	黒野 利佐子 (55) <令和2年9月> Master of Science in Nursing (米国) 国際保健医療活動II 大学道場miniゼミA	兼任	准教授	黒野 利佐子 (56) <令和2年9月> Master of Science in Nursing (米国) 国際保健医療活動II 大学道場miniゼミA	兼任	准教授	黒野 利佐子 (57) <令和2年9月> Master of Science in Nursing (米国) 国際保健医療活動II 大学道場miniゼミA	兼任	准教授	黒野 利佐子 (58) <令和2年9月> Master of Science in Nursing (米国) 国際保健医療活動II 大学道場miniゼミA
兼任	准教授	島内 敦子 (54) <令和2年4月> 看護学士 大学道場miniゼミA	兼任	准教授	島内 敦子 (55) <令和2年4月> 看護学士 大学道場miniゼミA	兼任	准教授	島内 敦子 (56) <令和2年4月> 看護学士 大学道場miniゼミA	兼任	准教授	島内 敦子 (57) <令和2年4月> 看護学士 大学道場miniゼミA	兼任	教授	島内 敦子 (58) <令和2年4月> 看護学士 大学道場miniゼミA
兼任	准教授	山口 有美 (53) <令和2年9月> 博士(学術) 大学道場miniゼミB 医療安全管理学実習	兼任	准教授	山口 有美 (54) <令和2年9月> 博士(学術) 大学道場miniゼミB 医療安全管理学実習	兼任	准教授	山口 有美 (55) <令和2年9月> 博士(学術) 大学道場miniゼミB 医療安全管理学実習	兼任	准教授	山口 有美 (56) <令和2年9月> 博士(学術) 大学道場miniゼミB 医療安全管理学実習	兼任	講師	山口 有美 (57) <令和2年9月> 博士(学術) 医療安全管理学実習
兼任	准教授	岩切 由紀 (52) <令和2年4月> 修士(看護学) 大学道場miniゼミA	兼任	准教授	岩切 由紀 (53) <令和2年4月> 修士(看護学) 大学道場miniゼミA	兼任	准教授	岩切 由紀 (54) <令和2年4月> 修士(看護学) 大学道場miniゼミA	兼任	教授	岩切 由紀 (55) <令和2年4月> 修士(看護学) 大学道場miniゼミA			
兼任	准教授	谷口 由穂 (49) <令和2年4月> 博士(看護学) 大学道場miniゼミA IPW(多職種連携)論												
			兼任	准教授	立堀 裕子 (48) <令和2年4月> 修士(保健学) まなぶらとさわびとI	兼任	准教授	立堀 裕子 (49) <令和2年4月> 修士(保健学) 大学道場miniゼミA	兼任	准教授	立堀 裕子 (60) <令和2年4月> 修士(保健学) 大学道場miniゼミA	兼任	准教授	立堀 裕子 (61) <令和2年4月> 修士(保健学) 大学道場miniゼミA
						兼任	准教授	伊賀 愛 (48) <令和3年9月> 修士(看護学) 大学道場miniゼミB	兼任	准教授	伊賀 愛 (47) <令和3年9月> 修士(看護学) 大学道場miniゼミB	兼任	准教授	伊賀 愛 (48) <令和3年9月> 修士(看護学) 大学道場miniゼミB
兼任	准教授	笹井 陸邦 (59) <令和2年4月> 農学修士 人間と地球環境 基礎生物学	兼任	准教授	笹井 陸邦 (60) <令和2年4月> 農学修士 人間と地球環境	兼任	准教授	笹井 陸邦 (61) <令和2年4月> 農学修士 人間と地球環境	兼任	准教授	笹井 陸邦 (62) <令和2年4月> 農学修士 人間と地球環境 大学道場miniゼミB	兼任	准教授	笹井 陸邦 (63) <令和2年4月> 農学修士 人間と地球環境
兼任	准教授	山下 敦子 (48) <令和2年9月> 修士(学校教育学) アカデミックライティング	兼任	教授	山下 敦子 (49) <令和2年9月> 修士(学校教育学) アカデミックライティング	兼任	教授	山下 敦子 (50) <令和2年9月> 修士(学校教育学) アカデミックライティング	兼任	教授	山下 敦子 (51) <令和2年9月> 修士(学校教育学) アカデミックライティング	兼任	教授	山下 敦子 (52) <令和2年9月> 修士(学校教育学) アカデミックライティング
						兼任	准教授	藤本 聡美 (55) <令和4年4月> 英文学修士 国際理解	兼任	准教授	藤本 聡美 (64) <令和4年4月> 英文学修士 国際理解	兼任	准教授	藤本 聡美 (64) <令和4年4月> 英文学修士 国際理解

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	田村 周二 (61) <令和2年4月> 専門学校卒	兼任	講師	田村 周二 (62) <令和2年4月> 専門学校卒	兼任	講師	田村 周二 (63) <令和2年4月> 専門学校卒	兼任	講師	田村 周二 (64) <令和2年4月> 専門学校卒
		まなふる*ときわびとⅡ 人体のふしぎ 診療画像検査Ⅱ(超音波・眼底) 診療画像技術学実習 画像診断機器学実習Ⅰ 画像診断機器学実習Ⅱ 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ			まなふる*ときわびとⅡ 人体のふしぎ 診療画像検査Ⅱ(超音波・眼底) 診療画像技術学実習 画像診断機器学実習Ⅰ 画像診断機器学実習Ⅱ 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ			人体のふしぎ 診療画像検査Ⅱ(超音波・眼底) 診療画像技術学実習 画像診断機器学実習Ⅰ 画像診断機器学実習Ⅱ 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ			人体のふしぎ 診療画像検査Ⅱ(超音波・眼底) 診療画像技術学実習 画像診断機器学実習Ⅰ 画像診断機器学実習Ⅱ 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ
兼任	講師	杉山 育代 (61) <令和2年4月> 学士(教養)	兼任	講師	杉山 育代 (62) <令和2年4月> 学士(教養)	兼任	講師	杉山 育代 (63) <令和2年4月> 学士(教養)	兼任	講師	杉山 育代 (64) <令和2年4月> 学士(教養)
		人体のふしぎ			人体のふしぎ			人体のふしぎ			人体のふしぎ 診療画像検査Ⅱ(超音波・眼底) 画像診断機器学実習Ⅰ
兼任	講師	渡谷 雪子 (44) <令和2年4月> 学士(薬学)	兼任	講師	渡谷 雪子 (45) <令和2年4月> 学士(薬学)	兼任	講師	渡谷 雪子 (46) <令和2年4月> 学士(薬学)	兼任	講師	渡谷 雪子 (47) <令和2年4月> 学士(薬学)
		地域との協働B			地域との協働B			地域との協働B			地域との協働B
兼任	講師	澤村 暢 (38) <令和2年4月> 修士(保健学)	兼任	講師	澤村 暢 (39) <令和2年4月> 修士(保健学)	兼任	講師	澤村 暢 (40) <令和2年4月> 修士(保健学)	兼任	講師	澤村 暢 (41) <令和2年4月> 修士(保健学)
		まなふる*ときわびとⅠ			まなふる*ときわびとⅠ			まなふる*ときわびとⅠ			まなふる*ときわびとⅡ
兼任	講師	中村 晶子 (56) <令和2年4月> 修士(都市政策学)									
		健康スポーツ科学Ⅰ									
兼任	講師	永島 聡 (54) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	講師	永島 聡 (55) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	講師	永島 聡 (56) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	講師	永島 聡 (57) <令和2年4月> 博士(学術)
		まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ 大学進路miniゼミA 心理臨床学 人間関係論			まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ 大学進路miniゼミA 心理臨床学 人間関係論			まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ 大学進路miniゼミA 心理臨床学 人間関係論			心理臨床学 人間関係論
兼任	講師	伊賀 貴智子 (57) <令和6年4月> 修士(学校教育学)	兼任	講師	伊賀 貴智子 (57) <令和6年4月> 修士(学校教育学)	兼任	講師	伊賀 貴智子 (57) <令和6年4月> 修士(学校教育学)	兼任	講師	伊賀 貴智子 (57) <令和6年4月> 修士(学校教育学)
		まなふる*ときわびとⅠ			まなふる*ときわびとⅠ			まなふる*ときわびとⅠ			まなふる*ときわびとⅠ
兼任	講師	藤田 直 (63) <令和5年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	藤田 直 (63) <令和5年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	藤田 直 (63) <令和5年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	藤田 直 (63) <令和5年4月> 修士(看護学)
		まなふる*ときわびとⅠ			まなふる*ときわびとⅠ			まなふる*ときわびとⅠ			まなふる*ときわびとⅠ
兼任	講師	原 香代 (48) <令和2年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	原 香代 (47) <令和2年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	原 香代 (47) <令和2年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	原 香代 (47) <令和2年4月> 修士(看護学)
		まなふる*ときわびとⅠ			まなふる*ときわびとⅠ			まなふる*ときわびとⅠ			まなふる*ときわびとⅠ
兼任	講師	中村 由果理 (44) <令和2年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	中村 由果理 (45) <令和2年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	中村 由果理 (46) <令和2年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	中村 由果理 (47) <令和2年4月> 修士(看護学)
		まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ			まなふる*ときわびとⅡ			まなふる*ときわびとⅡ			まなふる*ときわびとⅡ
兼任	講師	江口 美希 (37) <令和2年4月> 修士(看護学)									
		まなふる*ときわびとⅠ									
兼任	講師	近藤 みづき (45) <令和2年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	近藤 みづき (46) <令和2年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	近藤 みづき (47) <令和2年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	近藤 みづき (48) <令和2年4月> 修士(教育学)
		まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ 健康スポーツ科学Ⅰ 健康スポーツ科学Ⅲ 健康スポーツ科学Ⅳ			まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ 健康スポーツ科学Ⅰ 健康スポーツ科学Ⅲ 健康スポーツ科学Ⅳ			まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ 健康スポーツ科学Ⅰ 健康スポーツ科学Ⅲ 健康スポーツ科学Ⅳ			まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ 健康スポーツ科学Ⅰ 健康スポーツ科学Ⅲ 健康スポーツ科学Ⅳ
兼任	講師	大城 亜水 (32) <令和2年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	大城 亜水 (33) <令和2年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	大城 亜水 (34) <令和2年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	大城 亜水 (35) <令和2年4月> 博士(経済学)
		まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ 情報メディア演習 地域との協働A			まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ 地域との協働A			まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ 地域との協働A			まなふる*ときわびとⅠ まなふる*ときわびとⅡ 地域との協働A 情報基礎 情報メディア演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	京橋 重智 (31) <令和2年4月> 修士(人間科学)	兼任	講師	京橋 重智 (32) <令和2年4月> 修士(人間科学)	兼任	講師	京橋 重智 (33) <令和2年4月> 修士(人間科学)	兼任	講師	京橋 重智 (34) <令和2年4月> 修士(人間科学)
		まなふる*とさわびとⅠ 地域との協働B			まなふる*とさわびとⅠ 地域との協働B まなふる*とさわびとⅡ			まなふる*とさわびとⅠ 地域との協働B まなふる*とさわびとⅡ			まなふる*とさわびとⅠ 地域との協働B まなふる*とさわびとⅡ
											杉浦 弘隆 (32) <令和5年4月> 博士(工学)
											まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 大学連携miniゼミB 現代社会と化学
											廣川 幹 (34) <令和4年4月> 修士(教育学)
											まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 大学連携miniゼミB
			兼任	助教	今西 麻穂子 (64) <令和2年4月> 学士(保健衛生学)	兼任	講師	今西 麻穂子 (65) <令和2年4月> 学士(保健衛生学)	兼任	講師	今西 麻穂子 (66) <令和2年4月> 学士(保健衛生学)
					まなふる*とさわびとⅡ			まなふる*とさわびとⅡ			まなふる*とさわびとⅡ
			兼任	助教	鳥巻 梢 (40) <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	助教	鳥巻 梢 (41) <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	助教	鳥巻 梢 (42) <令和2年4月> 博士(医学)
					まなふる*とさわびとⅠ			まなふる*とさわびとⅠ			まなふる*とさわびとⅠ 国際理解
兼任	助教	三浦 真希子 (37) <令和2年4月> 修士(保健学)	兼任	助教	三浦 真希子 (38) <令和2年4月> 修士(保健学)	兼任	助教	三浦 真希子 (39) <令和2年4月> 修士(保健学)			
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ			まなふる*とさわびとⅠ			まなふる*とさわびとⅠ			
兼任	助教	清越 祐志 (31) <令和2年4月> 修士(人間健康科学)	兼任	講師	清越 祐志 (32) <令和2年4月> 修士(人間健康科学)	兼任	講師	清越 祐志 (33) <令和2年4月> 修士(人間健康科学)	兼任	講師	清越 祐志 (34) <令和2年4月> 修士(人間健康科学)
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 公衆衛生学			まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 公衆衛生学			まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 公衆衛生学 いのちと共生			まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 公衆衛生学 いのちと共生
兼任	助教	佐野 大亮 (29) <令和2年4月> 学士(医療検査学)	兼任	助教	佐野 大亮 (30) <令和2年4月> 学士(医療検査学)	兼任	助教	佐野 大亮 (31) <令和2年4月> 学士(医療検査学)	兼任	助教	佐野 大亮 (32) <令和2年4月> 学士(医療検査学)
		まなふる*とさわびとⅡ メディカルデータサイエンス			まなふる*とさわびとⅡ メディカルデータサイエンス まなふる*とさわびとⅠ 病理学			まなふる*とさわびとⅡ メディカルデータサイエンス まなふる*とさわびとⅠ 病理学 情報基礎			まなふる*とさわびとⅡ まなふる*とさわびとⅠ 病理学 情報基礎
											額山 智博 (31) <令和5年4月> 修士(保健学)
											まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ
兼任	助教	尾崎 優子 (48) <令和2年4月> 修士(学術)	兼任	助教	尾崎 優子 (49) <令和2年4月> 修士(学術)	兼任	講師	尾崎 優子 (50) <令和2年4月> 修士(学術)	兼任	講師	尾崎 優子 (51) <令和2年4月> 修士(学術)
		まなふる*とさわびとⅠ			まなふる*とさわびとⅠ 地域との協働A			まなふる*とさわびとⅠ 地域との協働A			まなふる*とさわびとⅠ 地域との協働A
兼任	助教	紀ノ岡 浩美 (47) <令和2年4月> 学士(看護学)	兼任	助教	紀ノ岡 浩美 (48) <令和2年4月> 学士(看護学)	兼任	助教	紀ノ岡 浩美 (49) <令和2年4月> 学士(看護学)	兼任	助教	紀ノ岡 浩美 (50) <令和2年4月> 学士(看護学)
		まなふる*とさわびとⅠ 国際保健医療活動Ⅱ			まなふる*とさわびとⅠ 国際保健医療活動Ⅱ 地域との協働A			まなふる*とさわびとⅠ 国際保健医療活動Ⅱ 地域との協働A			まなふる*とさわびとⅠ 国際保健医療活動Ⅱ 地域との協働A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	中村 美紀 (47) <令和2年4月> 修士(口腔保健学)			中村 美紀 (49) <令和3年4月> 修士(口腔保健学)	兼任	講師	中村 美紀 (50) <令和3年4月> 修士(口腔保健学)	兼任	講師	中村 美紀 (51) <令和3年4月> 修士(口腔保健学)
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ			地域との協働B			地域との協働B			地域との協働B
兼任	講師	伴仲 謙次 (47) <令和2年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	伴仲 謙次 (47) <令和2年4月> 修士(教育学)			伴仲 謙次 (48) <令和2年4月> 修士(教育学)			伴仲 謙次 (50) <令和2年4月> 修士(教育学)
		まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 安全学 現代社会学 地域との協働A			まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 安全学 現代社会学 地域との協働A 教育と人間	兼任	講師	まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 安全学 現代社会学 地域との協働A 教育と人間 情報高度 情報メディア学習 国際理解	兼任	講師	まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 安全学 現代社会学 地域との協働A 教育と人間 情報メディア学習 国際理解
兼任	講師	横山 麻衣 (26) <令和2年4月> 短期大士(口腔保健)									
		まなふる*とさわびとⅠ									
			兼任	講師	氏橋 貴子 (45) <令和2年4月> 学士(歯医学)	兼任	講師	氏橋 貴子 (46) <令和2年4月> 学士(歯医学)	兼任	講師	氏橋 貴子 (47) <令和2年4月> 学士(歯医学)
					まなふる*とさわびとⅠ			まなふる*とさわびとⅠ			まなふる*とさわびとⅠ
			兼任	講師	川野 亜希 (27) <令和2年4月> 修士(口腔保健学)	兼任	講師	川野 亜希 (28) <令和2年4月> 修士(口腔保健学)	兼任	講師	川野 亜希 (29) <令和2年4月> 修士(口腔保健学)
					まなふる*とさわびとⅠ			まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ			まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ
			兼任	講師	内藤 一恵 (39) <令和2年4月> 修士(学術)	兼任	講師	内藤 一恵 (40) <令和2年4月> 修士(学術)	兼任	講師	内藤 一恵 (41) <令和2年4月> 修士(学術)
					まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ			まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 多文化コミュニケーション 国際社会論			まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 多文化コミュニケーション 国際社会論
			兼任	講師	小崎 進介 (24) <令和2年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	小崎 進介 (25) <令和2年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	小崎 進介 (27) <令和2年4月> 修士(教育学)
					まなふる*とさわびとⅠ			まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ			まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ
			兼任	講師	田中 進也 (36) <令和4年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	田中 進也 (37) <令和4年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	田中 進也 (37) <令和4年4月> 学士(教育学)
					まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ			まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 大学進路in1ゼミB			まなふる*とさわびとⅠ まなふる*とさわびとⅡ 大学進路in1ゼミB
兼任	講師	千石 真理 (55) <令和2年4月> 医学博士	兼任	講師	千石 真理 (56) <令和2年4月> 医学博士	兼任	講師	千石 真理 (57) <令和2年4月> 医学博士	兼任	講師	千石 真理 (58) <令和2年4月> 医学博士
		いのちと共生 英語Aa (Communicative English Basic)			いのちと共生 英語Aa (Communicative English Basic)			いのちと共生			いのちと共生
兼任	講師	畑中 道代 (67) <令和2年9月> 医学博士	兼任	講師	畑中 道代 (68) <令和2年9月> 医学博士	兼任	講師	畑中 道代 (69) <令和2年9月> 医学博士			
		いのちと共生			いのちと共生			いのちと共生			いのちと共生
兼任	講師	森 正敬 (78) <令和2年9月> 医学博士	兼任	講師	森 正敬 (79) <令和2年9月> 医学博士	兼任	講師	森 正敬 (80) <令和2年9月> 医学博士			
		いのちと共生			いのちと共生			いのちと共生			いのちと共生
兼任	講師	江上 芳子 (77) <令和2年9月> 専門学校卒	兼任	講師	江上 芳子 (78) <令和2年9月> 専門学校卒	兼任	講師	江上 芳子 (79) <令和2年9月> 専門学校卒	兼任	講師	江上 芳子 (80) <令和2年9月> 専門学校卒
		いのちと共生			いのちと共生			いのちと共生			いのちと共生
兼任	講師	柳 敏晴 (72) <令和2年4月> 体育学士	兼任	講師	柳 敏晴 (73) <令和2年4月> 体育学士	兼任	講師	柳 敏晴 (74) <令和2年4月> 体育学士	兼任	講師	柳 敏晴 (75) <令和2年4月> 体育学士
		健康スポーツ科学Ⅱ			健康スポーツ科学Ⅱ			健康スポーツ科学Ⅱ			健康スポーツ科学Ⅱ
			兼任	講師	小野 昌二 (85) <令和2年4月> 修士(学校教育学)						
					健康スポーツ科学Ⅱ						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	神田 大輔 (44) <令和2年9月> 博士(文学) アカデミックライティング							兼任	講師	橋本 大輔 (27) <令和4年4月> 修士(教育学) 職業スポーツ科学I 職業スポーツ科学II 職業スポーツ科学III
兼任	講師	小西 千鶴 (54) <令和2年4月> 文学修士 英語コミュニケーションII 英語Aa (Communicative English Basic) 英語Ab (Communicative English Intermediate) 英語C (Cultural Studies)	兼任	講師	小西 千鶴 (55) <令和2年4月> 文学修士 英語コミュニケーションII 英語Aa (Communicative English Basic) 英語Ab (Communicative English Intermediate) 英語C (Cultural Studies)	兼任	講師	小西 千鶴 (56) <令和2年4月> 文学修士 英語コミュニケーションII 英語Aa (Communicative English Basic) 英語Ab (Communicative English Intermediate) 英語C (Cultural Studies)	兼任	講師	小西 千鶴 (57) <令和2年4月> 文学修士 英語コミュニケーションII 英語Aa (Communicative English Basic) 英語Ab (Communicative English Intermediate) 英語D (Current Issues) 英語B (Presentation Skills)
兼任	講師	Carol K. Dallos (60) <令和2年9月> Bachelor of Science in Business Administration (米園) 英語Ab (Communicative English Intermediate)	兼任	講師	Carol K. Dallos (61) <令和2年9月> Bachelor of Science in Business Administration (米園) 英語Ab (Communicative English Intermediate)	兼任	講師	Carol K. Dallos (62) <令和2年9月> Bachelor of Science in Business Administration (米園) 英語Ab (Communicative English Intermediate)	兼任	講師	Carol K. Dallos (64) <令和2年9月> Bachelor of Science in Business Administration (米園) 英語Ab (Communicative English Intermediate) 英語D (Current Issues) 英語B (Presentation Skills)
兼任	講師	浅野 京子 (71) <令和2年4月> 専門学校卒 手話コミュニケーション	兼任	講師	浅野 京子 (72) <令和2年4月> 専門学校卒 手話コミュニケーション	兼任	講師	浅野 京子 (73) <令和2年4月> 専門学校卒 手話コミュニケーション	兼任	講師	浅野 京子 (74) <令和2年4月> 専門学校卒 手話コミュニケーション
			兼任	講師	田中 正鶴 (74) <令和2年4月> 理学修士 暮らしの中の物理学						
兼任	講師	金 千秋 (67) <令和2年4月> 理学士 安全学 災害とまちづくり	兼任	講師	金 千秋 (68) <令和2年4月> 理学士 安全学	兼任	講師	金 千秋 (69) <令和2年4月> 理学士 安全学	兼任	講師	金 千秋 (70) <令和2年4月> 理学士 安全学 国際理解
兼任	講師	西岡 伸紀 (61) <令和2年4月> 教育学修士 安全学	兼任	講師	西岡 伸紀 (62) <令和2年4月> 教育学修士 安全学	兼任	講師	西岡 伸紀 (63) <令和2年4月> 教育学修士 安全学	兼任	講師	西岡 伸紀 (64) <令和2年4月> 教育学修士 安全学
兼任	講師	榎本 敬 (56) <令和2年4月> 理学士 安全学									
			兼任	講師	馬場 崇二 (64) <令和2年4月> 法学士 安全学	兼任	講師	馬場 崇二 (65) <令和2年4月> 法学士 安全学	兼任	講師	馬場 崇二 (66) <令和2年4月> 法学士 安全学
									兼任	講師	福井 康 (68) <令和2年4月> 学士(法学) 安全学
兼任	講師	伴 俊作 (65) <令和2年4月> 経済学士 安全学	兼任	講師	伴 俊作 (66) <令和2年4月> 経済学士 安全学	兼任	講師	伴 俊作 (67) <令和2年4月> 経済学士 安全学			
兼任	講師	柴山 慶太 (45) <令和2年4月> 法務博士(専門職) 安全学 日本国憲法	兼任	講師	柴山 慶太 (46) <令和2年4月> 法務博士(専門職) 安全学 日本国憲法	兼任	講師	柴山 慶太 (47) <令和2年4月> 法務博士(専門職) 安全学 日本国憲法	兼任	講師	柴山 慶太 (48) <令和2年4月> 法務博士(専門職) 安全学 日本国憲法
兼任	講師	本田 英理 (49) <令和2年4月> - 安全学	兼任	講師	本田 英理 (50) <令和2年4月> - 安全学	兼任	講師	本田 英理 (51) <令和2年4月> - 安全学	兼任	講師	本田 英理 (52) <令和2年4月> - 安全学
									兼任	講師	増地 隆之 (46) <令和4年4月> 学士(経営学) 安全学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	大宮 誠司 (68) <令和2年4月> 農学修士	兼任	講師	大宮 誠司 (69) <令和2年4月> 農学修士	兼任	講師	大宮 誠司 (70) <令和2年4月> 農学修士	兼任	講師	大宮 誠司 (72) <令和2年4月> 農学修士
		人類と農学			人類と農学			人類と農学			人類と農学
兼任	講師	中野 康次郎 (52) <令和2年4月> 文学修士	兼任	講師	中野 康次郎 (53) <令和2年4月> 文学修士	兼任	講師	中野 康次郎 (54) <令和2年4月> 文学修士	兼任	講師	中野 康次郎 (55) <令和2年4月> 文学修士
		哲学			哲学			哲学			哲学
兼任	講師	児玉 正幸 (69) <令和2年9月> 博士(文学)				兼任	講師	児玉 正幸 (71) <令和2年9月> 博士(文学)			
		生命と倫理						生命と倫理			
			兼任	講師	橋本 新一 (42) <令和2年4月> 修士(文学)						
					生命と倫理						
兼任	講師	高土 莊貴 (49) <令和2年4月> 学士(文学)									
		芸術文化論									
兼任	講師	佐竹 隆幸 (58) <令和2年4月> 博士(経営学)									
		芸術文化論									
兼任	講師	善竹 隆司 (45) <令和2年4月> —									
		芸術文化論									
兼任	講師	新 葉子 (47) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	講師	新 葉子 (48) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	講師	新 葉子 (49) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	講師	新 葉子 (50) <令和2年4月> 博士(文学)
		文学			文学			文学			文学
兼任	講師	片山 正彦 (45) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	講師	片山 正彦 (46) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	講師	片山 正彦 (47) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	講師	片山 正彦 (48) <令和2年4月> 博士(文学)
		日本通史			日本通史			日本通史			日本通史
兼任	講師	山田 勝久 (75) <令和2年9月> 文学修士	兼任	講師	山田 勝久 (76) <令和2年9月> 文学修士	兼任	講師	山田 勝久 (77) <令和2年9月> 文学修士			
		世界の時事			世界の時事			世界の時事			
									兼任	講師	山下 紗矢佳 (34) <令和4年4月> 博士(経営学)
											組織マネジメント論
兼任	講師	関本 雅子 (69) <令和2年4月> 医学士	兼任	講師	関本 雅子 (70) <令和2年4月> 医学士	兼任	講師	関本 雅子 (71) <令和2年4月> 医学士	兼任	講師	関本 雅子 (72) <令和2年4月> 医学士
		教育と人間			教育と人間			教育と人間			教育と人間
兼任	講師	足立 了平 (65) <令和2年9月> 歯学博士	兼任	講師	足立 了平 (66) <令和2年9月> 歯学博士	兼任	講師	足立 了平 (67) <令和2年9月> 歯学博士	兼任	講師	足立 了平 (68) <令和2年9月> 歯学博士
		災害とまちづくり 災害医療学			災害医療学 教育と人間			災害医療学 教育と人間			災害医療学
兼任	講師	宮田 英和 (63) <令和2年9月> 工学士									
		災害とまちづくり									
兼任	講師	長谷部 治 (46) <令和2年9月> 社会福祉学学士									
		災害とまちづくり									
兼任	講師	室崎 友輔 (39) <令和2年9月> 修士(人間科学)	兼任	講師	室崎 友輔 (40) <令和2年9月> 修士(人間科学)	兼任	講師	室崎 友輔 (41) <令和2年9月> 修士(人間科学)	兼任	講師	室崎 友輔 (42) <令和2年9月> 修士(人間科学)
		コミュニティデザイン ライフデザイン			コミュニティデザイン ライフデザイン 家なふる」ときわびとⅠ 災害とまちづくり 家なふる」ときわびとⅡ 情報基礎 情報メディア講習			コミュニティデザイン ライフデザイン 家なふる」ときわびとⅠ 災害とまちづくり 家なふる」ときわびとⅡ 情報基礎 情報メディア講習			コミュニティデザイン ライフデザイン 家なふる」ときわびとⅠ 災害とまちづくり 家なふる」ときわびとⅡ 情報基礎 情報メディア講習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任 講師		中村 政徳 (85) <令和2年4月> — 真響とまもづくり				兼任 講師		真響とまもづくり ライフデザイン
兼任 講師		西 修 (59) <令和2年9月> 工学修士	兼任 講師		西 修 (61) <令和2年9月> 工学修士	兼任 講師		西 修 (62) <令和2年9月> 工学修士	兼任 講師		西 修 (63) <令和2年9月> 工学修士
		コミュニティデザイン			コミュニティデザイン			コミュニティデザイン			コミュニティデザイン
兼任 講師		藤岡 健 (49) <令和2年9月> 法学士	兼任 講師		藤岡 健 (51) <令和2年9月> 法学士	兼任 講師		藤岡 健 (52) <令和2年9月> 法学士	兼任 講師		藤岡 健 (53) <令和2年9月> 法学士
		コミュニティデザイン			コミュニティデザイン			コミュニティデザイン			コミュニティデザイン
兼任 講師		永田 徹 (73) <令和2年4月> 医学博士	兼任 講師		永田 徹 (74) <令和2年4月> 医学博士	兼任 講師		永田 徹 (75) <令和2年4月> 医学博士	兼任 講師		永田 徹 (77) <令和2年4月> 医学博士
		解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ			解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ			解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ			解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ
									兼任 講師		青柳 一郎 (60) <令和5年4月> 博士(工学) 基礎化学
兼任 講師		藤原央樹 (35) <令和3年4月> 学士(薬学)	兼任 講師		藤原央樹 (36) <令和3年4月> 学士(薬学)	兼任 講師		藤原央樹 (38) <令和3年4月> 学士(薬学)	兼任 講師		藤原央樹 (39) <令和3年4月> 学士(薬学)
		薬理学			薬理学			薬理学			薬理学
兼任 講師		日下 恵起子 (55) <令和2年9月> 学士(保健衛生学)	兼任 講師		日下 恵起子 (56) <令和2年9月> 学士(保健衛生学)	兼任 講師		日下 恵起子 (57) <令和2年9月> 学士(保健衛生学)	兼任 講師		日下 恵起子 (58) <令和2年9月> 学士(保健衛生学)
		臨床技術入門			臨床技術入門			臨床技術入門			臨床技術入門
兼任 講師		古東 正宜 (60) <令和2年9月> 専門学校卒	兼任 講師		古東 正宜 (61) <令和2年9月> 専門学校卒	兼任 講師		古東 正宜 (62) <令和2年9月> 専門学校卒	兼任 講師		古東 正宜 (64) <令和2年9月> 専門学校卒
		臨床技術入門			臨床技術入門			臨床技術入門			臨床技術入門
兼任 講師		村本 誠一郎 (59) <令和2年9月> 専門学校卒	兼任 講師		村本 誠一郎 (60) <令和2年9月> 専門学校卒	兼任 講師		村本 誠一郎 (61) <令和2年9月> 専門学校卒	兼任 講師		村本 誠一郎 (62) <令和2年9月> 専門学校卒
		臨床技術入門			臨床技術入門			臨床技術入門			臨床技術入門
兼任 講師		武川 公 (72) <令和2年9月> 学術博士	兼任 講師		武川 公 (73) <令和2年9月> 学術博士	兼任 講師		武川 公 (74) <令和2年9月> 学術博士	兼任 講師		武川 公 (75) <令和2年9月> 学術博士
		放射線科学概論 医用工学実習			放射線科学概論 医用工学実習			放射線科学概論 医用工学実習			放射線科学概論 医用工学実習
兼任 講師		橋本 信雄 (69) <令和2年9月> 文学修士	兼任 講師		橋本 信雄 (70) <令和2年9月> 文学修士	兼任 講師		橋本 信雄 (71) <令和2年9月> 文学修士			
		放射化学Ⅰ 放射化学Ⅱ 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ			放射化学Ⅰ 放射化学Ⅱ 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ			放射化学Ⅰ 放射化学Ⅱ 診療放射線技術学総合演習Ⅰ 診療放射線技術学総合演習Ⅱ			
									兼任 講師		島藤 良貴 (87) <令和5年4月> 学士(薬工学) 病態学
兼任 講師		遠藤 宏和 (43) <令和4年4月> 学士(医用電子工学)	兼任 講師		遠藤 宏和 (44) <令和4年4月> 学士(医用電子工学)	兼任 講師		遠藤 宏和 (45) <令和4年4月> 学士(医用電子工学)	兼任 講師		遠藤 宏和 (47) <令和4年4月> 学士(医用電子工学)
		医用機器概論			医用機器概論			医用機器概論			医用機器概論
									兼任 講師		百村 豊弘 (86) <令和5年4月> 博士(薬工学) 放射化学Ⅱ
兼任 講師		清水 敬二 (40) <令和3年9月> 博士(医療技術学)	兼任 講師		清水 敬二 (41) <令和3年9月> 博士(医療技術学)	兼任 講師		清水 敬二 (42) <令和3年9月> 博士(医療技術学)	兼任 講師		清水 敬二 (43) <令和3年9月> 博士(医療技術学)
		放射線計測学実習			放射線計測学実習			放射線計測学実習			放射線計測学実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等									
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	榊岡 照知 (60) <令和4年9月> 准学士	兼任	講師	榊岡 照知 (61) <令和4年9月> 准学士	兼任	講師	榊岡 照知 (62) <令和4年9月> 准学士	兼任	講師	榊岡 照知 (63) <令和4年9月> 准学士
		放射線安全管理学実習			放射線安全管理学実習			放射線安全管理学実習			放射線安全管理学実習
兼任	講師	清水 康光 (43) <令和4年9月> 准学士	兼任	講師	清水 康光 (42) <令和4年9月> 准学士	兼任	講師	清水 康光 (43) <令和4年9月> 准学士	兼任	講師	清水 康光 (44) <令和4年9月> 准学士
		医療安全管理学実習			医療安全管理学実習			医療安全管理学実習			臨床技術入門
兼任	講師	小西 洋也 (49) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	小西 洋也 (51) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	小西 洋也 (52) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	小西 洋也 (53) <令和5年4月> 博士(医学)
		死亡時間画像診断学(オートプシー・イメージング)			死亡時間画像診断学(オートプシー・イメージング)			死亡時間画像診断学(オートプシー・イメージング)			死亡時間画像診断学(オートプシー・イメージング)
											上野 昌弘 (60) <令和5年4月> 博士(医学)
											小林 智博 (45) <令和5年4月> 博士(保健医療科学)
兼任	講師	中山 伸一 (64) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	中山 伸一 (65) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	中山 伸一 (66) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	中山 伸一 (67) <令和5年4月> 医学博士
		災害医療学			災害医療学			災害医療学			災害医療学
兼任	講師	中田 正明 (46) <令和5年4月> 専門学校卒業	兼任	講師	中田 正明 (47) <令和5年4月> 専門学校卒業	兼任	講師	中田 正明 (48) <令和5年4月> 専門学校卒業	兼任	講師	中田 正明 (49) <令和5年4月> 専門学校卒業
		災害医療学			災害医療学			災害医療学			災害医療学 臨床技術入門
兼任	講師	玉川 裕夫 (65) <令和5年4月> 歯学博士	兼任	講師	玉川 裕夫 (66) <令和5年4月> 歯学博士	兼任	講師	玉川 裕夫 (67) <令和5年4月> 歯学博士	兼任	講師	玉川 裕夫 (68) <令和5年4月> 歯学博士
		メディカルデータサイエンス			メディカルデータサイエンス			メディカルデータサイエンス			メディカルデータサイエンス
兼任	講師	小寺 吉衛 (67) <令和5年4月> 工学博士	兼任	講師	小寺 吉衛 (68) <令和5年4月> 工学博士	兼任	講師	小寺 吉衛 (69) <令和5年4月> 工学博士	兼任	講師	小寺 吉衛 (70) <令和5年4月> 工学博士
		先進医学・技術学			先進医学・技術学			先進医学・技術学			先進医学・技術学
兼任	講師	五月女 康作 (41) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	五月女 康作 (42) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	五月女 康作 (43) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	五月女 康作 (44) <令和5年4月> 博士(医学)
		先進医学・技術学			先進医学・技術学			先進医学・技術学			先進医学・技術学
兼任	講師	山本 健二郎 (47) <令和5年4月> 修士(医療安全管理学)	兼任	講師	山本 健二郎 (48) <令和5年4月> 修士(医療安全管理学)	兼任	講師	山本 健二郎 (49) <令和5年4月> 修士(医療安全管理学)	兼任	講師	山本 健二郎 (50) <令和5年4月> 修士(医療安全管理学)
		先進医学・技術学			先進医学・技術学			先進医学・技術学			先進医学・技術学
兼任	講師	佐守 友博 (72) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	佐守 友博 (73) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	佐守 友博 (74) <令和5年4月> 医学博士	兼任	講師	佐守 友博 (75) <令和5年4月> 医学博士
		先進医学・技術学			先進医学・技術学			先進医学・技術学			先進医学・技術学
兼任	講師	山田 真穂子 (47) <令和5年4月> 専門学校卒業	兼任	講師	山田 真穂子 (48) <令和5年4月> 専門学校卒業	兼任	講師	山田 真穂子 (49) <令和5年4月> 専門学校卒業	兼任	講師	山田 真穂子 (50) <令和5年4月> 専門学校卒業
		先進医学・技術学			先進医学・技術学			先進医学・技術学			先進医学・技術学
兼任	講師	水田 真平 (39) <令和5年4月> 保健学修士	兼任	講師	水田 真平 (40) <令和5年4月> 保健学修士	兼任	講師	水田 真平 (41) <令和5年4月> 保健学修士	兼任	講師	水田 真平 (42) <令和5年4月> 保健学修士
		先進医学・技術学			先進医学・技術学			先進医学・技術学			先進医学・技術学

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	蓮葉 洋一 (55) <令和5年4月> 修士(経済学)
		医療経済・経営学
兼任	講師	山村 憲一郎 (53) <令和5年4月> 博士(保健学)
		医療文献読解
兼任	講師	Shiba Kumar Rai (67) <令和5年4月> 博士(医学)
		国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	蓮葉 洋一 (56) <令和5年4月> 修士(経済学)
		医療経済・経営学
兼任	講師	山村 憲一郎 (54) <令和5年4月> 博士(保健学)
		医療文献読解
兼任	講師	Shiba Kumar Rai (68) <令和5年4月> 博士(医学)
		国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	蓮葉 洋一 (57) <令和5年4月> 修士(経済学)
		医療経済・経営学
兼任	講師	山村 憲一郎 (55) <令和5年4月> 博士(保健学)
		医療文献読解
兼任	講師	Shiba Kumar Rai (69) <令和5年4月> 博士(医学)
		国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	蓮葉 洋一 (58) <令和5年4月> 修士(経済学)
		医療経済・経営学
兼任	講師	山村 憲一郎 (56) <令和5年4月> 博士(保健学)
		医療文献読解
兼任	講師	Shiba Kumar Rai (70) <令和5年4月> 博士(医学)
		国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	蓮葉 洋一 (59) <令和5年4月> 修士(経済学)
		医療経済・経営学
兼任	講師	山村 憲一郎 (57) <令和5年4月> 博士(保健学)
		医療文献読解
兼任	講師	Shiba Kumar Rai (71) <令和5年4月> 博士(医学)
		国際保健医療活動Ⅰ 国際保健医療活動Ⅱ

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

--

【令和元年度】

--

【令和2年度】

<ul style="list-style-type: none">・教育内容を充実させるべく、松田正文教授の担当授業科目に「人体のふしぎ」、「生理学」を追加。・教育効果に配慮し、山崎麻由美教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。・教育内容を充実させるべく、高久圭二教授の担当授業科目に「まなぶる▶ときわびとⅠ」、「まなぶる▶ときわびとⅡ」を追加。・教育効果に配慮し、關雅幸准教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミA」、「暮らしの中の物理学」を削除。・教育内容を充実させるべく、高松邦彦准教授の担当授業科目に「芸術文化論」を追加。・教育効果を高めるべく、伊藤彰講師の担当授業科目に「臨床技術入門」を追加。・上田國寛教授の依願退職に伴い削除。・教育効果に配慮し、安藤啓司教授の担当授業科目から「人体のふしぎ」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を追加。・井本しおん教授の依願退職に伴い削除。・松元英理子教授の担当授業科目に「基礎生物学」を追加。・澤田浩秀教授の依願退職に伴い削除。・教育効果に配慮し、畑吉節未教授の端と授業科目から「大学道場miniゼミA」を削除。・教育効果に配慮し、牛頭哲宏教授の担当授業科目から「まなぶる▶ときわびとⅠ」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「アカデミックライティング」を追加。・教育効果に配慮し、藤原桜准教授の担当授業科目から「まなぶる▶ときわびとⅡ」を削除。・教育効果に配慮し、黒野利佐子准教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を追加。・谷口由佳准教授の依願退職に伴い削除。・教育内容を充実させるべく、立垣祐子准教授を「まなぶる▶ときわびとⅠ」の科目担当者として追加。・教育効果に配慮し、笹井隆邦准教授の担当授業科目から「基礎生物学」を削除。・R2.4.1より山下敦子氏が教授に昇格。・中村晶子講師の依願退職に伴い削除。・教育内容を充実させるべく、て原希代講師を「まなぶる▶ときわびとⅠ」の科目担当者として追加。・教育効果に配慮し、中村由果理講師の担当授業科目から「まなぶる▶ときわびとⅠ」を削除。・教育効果に配慮し、江口実希講師の担当授業科目から「まなぶる▶ときわびとⅠ」を削除。・R2.4.1より近藤みづき氏が准教授に昇格。また、教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「健康スポーツ科学Ⅱ」を追加。・教育効果に配慮し、大城亜水講師の担当授業科目から「情報メディア演習」を削除。・教育内容を充実させるべく、京極重智講師の担当授業科目に「まなぶる▶ときわびとⅡ」を追加。・教育内容を充実させるべく、「まなぶる▶ときわびとⅡ」の科目担当者として今西麻樹子助教を追加。・教育内容を充実させるべく、「まなぶる▶ときわびとⅠ」の科目担当者として島袋補助教を追加。・教育効果に配慮し、三浦真希子助教の担当授業科目から「まなぶる▶ときわびとⅡ」を削除。・R2.4.1より溝越祐志氏が講師に昇格。・教育内容を充実させるべく、佐野太亮助教の担当授業科目に「まなぶる▶ときわびとⅠ」を追加。・教育内容を充実させるべく、尾崎優子助教の担当授業科目に「地域との協働A」を追加。・教育内容を充実させるべく、紀ノ岡浩美助教の担当授業科目に「地域との協働A」を追加。・教育効果に配慮し、中村美紀氏の担当授業科目から「まなぶる▶ときわびとⅠ」、「まなぶる▶ときわびとⅡ」を削除。・教育内容を充実させるべく、伴仲謙欣氏の担当授業科目に「教育と人間」を追加。・横山麻衣氏の依願退職に伴い削除。・教育内容を充実させるべく、「まなぶる▶ときわびとⅠ」の科目担当者として氏橋貴子氏を追加。・教育内容を充実させるべく、「まなぶる▶ときわびとⅠ」の科目担当者として川野亜希氏を追加。・教育内容を充実させるべく、「まなぶる▶ときわびとⅠ」、「まなぶる▶ときわびとⅡ」の科目担当者として内橋一恵氏を追加。・教育内容を充実させるべく、「まなぶる▶ときわびとⅠ」の科目担当者として小崎遼介氏を追加。・教育内容を充実させるべく、「健康スポーツ科学Ⅱ」の科目担当者として小野昌二氏を追加。・講師の都合により、神田大輔氏の担当授業科目から「アカデミックライティング」を削除。・教育内容を充実させるべく、「暮らしの中の物理学」の科目担当者として田中正義氏を追加。・教育効果に配慮し、金千秋氏の担当授業科目から「災害とまちづくり」を削除。・講師の都合により、鍵本敦氏を削除。「安全学」の科目担当者の後任として馬場栄二氏を追加。・行使の都合により、児玉正幸氏を削除。「生命と倫理」の科目担当者の後任として森本誠一氏を追加。・講師の都合により、富士莊貴氏を削除。・講師の都合により、佐竹隆幸氏を削除。・講師の都合により、善竹隆司氏を削除。・教育効果に配慮し、足立平氏の担当授業科目から「災害とまちづくり」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「教育と人間」を追加。・講師の都合により、宮田英和氏を削除。・講師の都合により、長谷部治氏を削除。・教育内容を充実させるべく、室崎友輔氏の担当授業科目に「災害とまちづくり」、「まなぶる▶ときわびとⅠ」を追加。・教育内容を充実させるべく、「災害とまちづくり」の科目担当者として中村欣哉氏を追加

【令和3年度】

- ・教育内容を充実させるべく、松田正文教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、今井方丈教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」、「医療安全管理学」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、南利明教授の担当授業科目に「医療安全管理学」、「医療安全管理学実習」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、高久圭二教授の担当授業科目に「暮らしの中の物理学」を追加。
- ・教育効果に配慮し、關雅幸准教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、木村英理准教授の担当授業科目に「放射線計測学実習」、「医療安全管理学」を追加。
- ・教育効果を高めるべく、伊藤彰講師の担当授業科目に「地域との協働B」を追加。
- ・安富蔵人講師の就任辞退に伴い削除。
- ・新規採用に伴い、倉本卓講師を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、桂千広講師の担当授業科目に「まなぶる▶ときわびとⅠ」、「まなぶる▶ときわびとⅡ」を追加。
- ・新規採用に伴い、市川尚助教を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、塩谷英之教授を「いのちと共生」の科目担当者として追加。
- ・教育効果を高めるべく、安藤啓司教授の担当授業科目に「人体のふしぎ」を追加。
- ・教育効果に配慮し、柳本有二教授の担当授業科目から「健康スポーツ科学Ⅱ」を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、十九百君子教授を「大学道場miniゼミB」の科目担当者として追加。
- ・鶴飼知鶴准教授の依願退職に伴い削除。
- ・教育効果に配慮し、魚崎須美准教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。教育内容を充実させるべく、同氏の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、伊東愛准教授を「大学道場miniゼミB」の科目担当者として追加。
- ・教育効果に配慮し、田村周二講師の担当授業科目から「まなぶる▶ときわびとⅡ」を削除。
- ・教育効果を高めるべく、杉山育代講師の担当授業科目に「診療画像検査学Ⅱ（超音波・眼底）」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、江口実希講師を「まなぶる▶ときわびとⅠ」の科目担当者として追加。
- ・R3.4.1より今西麻樹子氏が講師に昇格。
- ・教育効果を高めるべく、溝越祐志講師の担当授業科目に「いのちと共生」を追加。
- ・教育効果を高めるべく、佐野太亮助教の担当授業科目に「病理学」を追加。
- ・R3.4.1より尾崎優子氏が講師に昇格。
- ・光安早織助教の依願退職に伴い削除。
- ・柳田学氏の依願退職に伴い削除。
- ・教育内容を充実させるべく、山城圭介氏を「人体のふしぎ」の科目担当者として追加。
- ・教育内容を充実させるべく、中村美紀氏を「地域との協働B」の科目担当者として追加。
- ・教育内容を充実させるべく、小崎遼介氏の担当授業科目に「まなぶる▶ときわびとⅡ」を追加。
- ・教育効果に配慮し、小野昌二氏の授業科目から「健康スポーツ科学Ⅱ」を削除。
- ・教育効果に配慮し、田中正義氏の授業科目から「暮らしの中の物理学」を削除。
- ・講師の都合により、森本誠一氏を削除。「生命と倫理」の科目担当者の後任として児玉正幸氏を追加。
- ・講師の都合により、中村欣哉氏を削除。

【令和4年度】

- ・教育効果に配慮し、松田正文教授の担当授業科目から「人体のふしぎ」を削除。
- ・教育効果に配慮し、山崎麻由美教授の担当授業科目から「英語B (Presentation)」を削除。併せて、科目廃止に伴い同氏の担当授業科目から「英語D (Academic English)」を削除。
- ・教育効果に配慮し、南利明教授の担当授業科目から「放射線安全管理学実習」を削除。併せて、「まなぶる▶ときわびとI」を追加。
- ・教育効果に配慮し、高久圭二教授の担当授業科目から「まなぶる▶ときわびとI」、「まなぶる▶ときわびとII」を削除。併せて、「科学技術論」を追加。
- ・教育効果に配慮し、對間博之教授の担当授業科目に「放射化学I」、「放射化学II」、「関係法規」を追加。
- ・教育効果に配慮し、關雅幸准教授の担当授業科目から「情報基礎」を削除。
- ・退職に伴い、高松邦彦准教授を削除。
- ・教育効果に配慮し、木村英理准教授の担当授業科目から「まなぶる▶ときわびとI」、「まなぶる▶ときわびとII」を削除。
- ・R4.4.1より伊藤彰氏が准教授に昇格。併せて、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目に「情報メディア演習」、「基礎数学」、「応用数学」を追加。
- ・教育効果に配慮し、桂千広講師の担当授業科目に「国際理解」を追加。
- ・新規採用に伴い、長谷川大輔助教を追加。
- ・教育効果に配慮し、市川尚助教の担当授業科目から「画像解剖学」、「医療安全管理学実習」、「放射線安全管理学実習」を削除。併せて、「情報基礎」を追加。
- ・教育効果に配慮し、北川薫助教の担当授業科目に「まなぶる▶ときわびとI」、「まなぶる▶ときわびとII」を追加。
- ・教育効果に配慮し、濱田道夫教授の担当授業科目に「国際社会論」、「科学技術論」を追加。
- ・教育効果に配慮し、塩谷英之教授の担当授業科目に「人体のふしぎ」、「生命と倫理」を追加。
- ・退職に伴い、栗岡誠司教授を削除。
- ・退職に伴い、安藤啓司教授を削除。
- ・教育効果に配慮し、晶榮教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
- ・教育効果に配慮し、大澤佳代教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を追加。
- ・教育効果に配慮し、鈴木高史教授の担当授業科目から「大学道場miniゼミA」を削除。併せて、「国際理解」、「科学技術論」を追加。
- ・急逝に伴い、長尾厚子教授を削除。
- ・退職に伴い、柳本有二教授を削除。
- ・退職に伴い、生島祥江教授を削除。
- ・教育効果に配慮し、尾崎雅子教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」、「いのちと共生」、「IPW (多職種連携) 論」を追加。
- ・科目名変更により、中田康夫教授の担当授業科目である「統計学」を「基礎統計学」へ変更。併せて、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目から「コミュニティデザイン」を削除し、「情報基礎」、「情報メディア演習」を追加。
- ・教育効果に配慮し、大森雅人教授の担当授業科目に「情報基礎」を追加。
- ・教育効果に配慮し、中田尚美教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、中西利恵教授を「大学道場miniゼミA」の科目担当者として追加。
- ・教育効果に配慮し、橋本好市教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」を追加。
- ・R4.4.1より魚崎須美氏が教授に昇格。
- ・教育内容を充実させるべく、藤原桜准教授を「大学道場miniゼミB」、「国際理解」の科目担当者として追加。
- ・教育効果に配慮し、黒野利佐子准教授の担当授業科目に「国際理解」を追加。
- ・R4.4.1より岩切由紀氏が教授に昇格。
- ・教育効果に配慮し、笹井隆邦准教授の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、脇本聡美准教授を「国際理解」の科目担当者として追加。
- ・教育効果に配慮し、澤村暢講師の担当授業科目から「まなぶる▶ときわびとI」を削除。併せて、「まなぶる▶ときわびとII」を追加。
- ・退職に伴い、永島聡講師を兼任に変更。併せて、同氏の担当授業科目から「まなぶる▶ときわびとI」、「まなぶる▶ときわびとII」、「大学道場miniゼミA」を削除。
- ・教育効果に配慮し、大城亜水講師の担当授業科目に「情報基礎」、「情報メディア演習」を追加。
- ・教育効果に配慮し、鳥袋梢助教の担当授業科目に「国際理解」を追加。
- ・退職に伴い、三浦真希子助教を削除。
- ・教育効果に配慮し、佐野太亮助教の担当授業科目に「情報基礎」を追加。
- ・教育効果に配慮し、紀ノ岡浩美助教の担当授業科目に「国際理解」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、水村容子助教を「国際理解」の科目担当者として追加。
- ・所属変更に伴い、吉田幸恵氏を兼任・教授に変更。併せて、同氏の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
- ・所属変更に伴い、八木孝和氏を兼任・教授に変更。併せて、同氏の担当授業科目に「大学道場miniゼミA」、「放射線治療技術学I」を追加。
- ・教育効果に配慮し、山城圭介氏の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、上原弘美氏を「大学道場miniゼミB」、「放射線治療技術学I」の科目担当者として追加。
- ・所属変更に伴い、中村美紀氏を兼任に変更。
- ・教育効果に配慮し、伴仲謙欣氏の担当授業科目に「情報基礎」、「情報メディア演習」、「国際理解」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、浅枝麻夢可氏を「まなぶる▶ときわびとI」、「まなぶる▶ときわびとII」の科目担当者として追加。
- ・所属変更に伴い、西保亜希氏を兼任・助教に変更。併せて、教育効果に配慮し、同氏の担当授業科目に「まなぶる▶ときわびとII」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、中野潤子氏を「国際理解」の科目担当者として追加。
- ・教育効果に配慮し、内橋一恵氏の担当授業科目から「まなぶる▶ときわびとI」を削除。併せて、「多文化コミュニケーション」、「国際社会論」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、田中達也氏を「まなぶる▶ときわびとI」、「まなぶる▶ときわびとII」の科目担当者として追加。
- ・教育効果に配慮し、千石真理の担当授業科目から「英語Aa (Communicative English Basic)」を削除。
- ・講師の都合により、畑中道代氏を削除。
- ・講師の都合により、森正敬氏を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、松本大祐氏を「健康スポーツ科学I」、「健康スポーツ科学III」の科目担当者として追加。
- ・教育内容を充実させるべく、神田大輔氏を「アカデミックライティング」の科目担当者として追加。
- ・教育効果に配慮し、小西千鶴氏の担当授業科目に「英語C (Current Issues)」、「英語B (Presentation Skills)」を追加。
- ・教育効果に配慮し、Carol K. Dallos氏の担当授業科目に「英語B (Presentation Skills)」を追加。
- ・教育効果に配慮し、金千秋氏の担当授業科目に「国際理解」を追加。
- ・講師の都合により、伴俊作氏を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、菊地隆之氏を「安全学」の科目担当者として追加。
- ・科目名変更により、中野康次郎氏の担当授業科目である「哲学」を「哲学と倫理」へ変更。
- ・講師の都合により、児玉正幸氏を削除。
- ・講師の都合により、山田勝久氏を削除。
- ・教育内容を充実させるべく、山下紗矢佳氏を「組織マネジメント論」の科目担当者として追加。
- ・教育効果に配慮し、室崎友輔氏の担当授業科目に「情報基礎」、「情報メディア演習」を追加。
- ・教育内容を充実させるべく、森永速男氏を「災害とまちづくり」、「ライフデザイン」の科目担当者として追加。
- ・講師の都合により、橋本信雄氏を削除。
- ・講師の都合により、小島幸恵氏を削除。
- ・講師の都合により、神田知紀氏を削除。
- ・講師の都合により、山口雅人氏を削除。
- ・講師の都合により、上嶋英介氏を削除。
- ・講師の都合により、前田隆樹氏を削除。
- ・講師の都合により、野上宗伸氏を削除。
- ・講師の都合により、祖父江慶太郎氏を削除。
- ・講師の都合により、岡田卓也氏を削除。
- ・教育効果に配慮し、清水康光氏の担当授業科目から「医療安全管理学実習」を削除。併せて、「臨床技術入門」を追加。
- ・教育効果に配慮し、中田正明氏の担当授業科目に「臨床技術入門」を追加。

【令和5年度】

- ・R5.4.1より倉本卓氏が准教授へ昇格。
 - ・教育効果に配慮し、長谷川大輔助教の担当授業科目に「国際理解」を追加。
 - ・教育効果に配慮し、市川尚助教の担当授業科目に「放射線計測学」を追加。併せて「情報基礎」を削除。
 - ・講師の都合により、塩谷英之教授の担当科目から「生命と倫理」を削除。科目後任は中田康夫教授。
 - ・栃倉匡文教授の担当授業科目を「大学道場miniゼミA」から「大学道場miniゼミB」へ変更。
 - ・新規採用に伴い、米田孝司教授を追加。
 - ・新規採用に伴い、伊藤洋志教授を追加。
 - ・退職に伴い、坊垣美也子准教授を削除。
 - ・新規採用に伴い、浦みどり准教授を追加。
 - ・退職に伴い、田村周二講師を削除。
 - ・新規採用に伴い、砂見愛子講師を追加。
 - ・退職に伴い、杉山育代講師を「兼任」へ変更。併せて、同氏の担当授業科目に「画像診断機器学実習Ⅱ」を追加。
 - ・教育効果に配慮し、佐野亮助教の担当科目から「メディカルデータサイエンス」を削除。
 - ・新規採用に伴い、梶山和樹助教を追加。
 - ・新規採用に伴い、谷口由佳教授を追加。
 - ・R5.4.1より島内教子氏が教授へ昇格。
 - ・退職に伴い、山口有美氏を「兼任・講師」へ変更。また、担当授業科目から「大学道場miniゼミB」を削除。
 - ・「まなぶる▶ときわびとⅠ」の科目担当者として、伊東美智子講師を追加。
 - ・「まなぶる▶ときわびとⅠ」の科目担当者として、野田部恵講師を追加。
 - ・新規採用に伴い、後藤聡太郎助教を追加。
 - ・新規採用に伴い、山田秀江教授を追加。
 - ・新規採用に伴い、杉浦弘隆講師を追加。
 - ・新規採用に伴い、深川幹講師を追加。
 - ・教育内容を充実させるべく、福田昌代氏の担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
 - ・教育内容を充実させるべく、上原弘美氏の担当授業科目に「いのちと共生」を追加。
 - ・教育内容を充実させるべく、水村容子助教の担当授業科目に「まなぶる▶ときわびとⅠ」、「まなぶる▶ときわびとⅡ」を追加。
 - ・「大学道場miniゼミA」「大学道場miniゼミB」の科目担当者として、江崎ひろみ氏を追加。
 - ・新規採用に伴い、田中達也氏を「兼任」へ変更。併せて、担当授業科目に「大学道場miniゼミB」を追加。
 - ・教育内容を充実させるべく、松本大祐氏の担当授業科目に「健康スポーツ科学Ⅱ」を追加。
 - ・講師の都合により、江上芳子氏を削除。
 - ・講師の都合により、柳敏晴氏を削除。
 - ・講師の都合により、馬場栄二氏を削除。科目担当後任として福井豊氏を追加。
 - ・講師の都合により、足立平氏の担当科目から「教育と人間」を削除。
 - ・「基礎化学」の科目担当者として、有瀬一郎氏を追加。
 - ・講師の都合により、武川公氏の担当科目から「放射線科学概論」を削除。
 - ・「病理学」の科目担当者として、鳥居良貴氏を追加。
 - ・「放射化学Ⅱ」の科目担当者として、西村圭弘氏を追加。
 - ・「X線撮影技術学Ⅱ（透視・造影検査）」「診療画像技術学実習」の科目担当者として、平松佐和子貴氏を追加。
 - ・「画像診断機器学実習Ⅰ」「画像診断機器学実習Ⅱ」の科目担当者として、谷端有布氏を追加。
 - ・「死亡時画像診断学（オートプシー・イメージング）」の科目担当者として、上野易弘氏、小林智哉氏を追加。
 - ・担当科目消滅により、林伸英教授、庄司靖枝教授、十九百君子教授、岩切由紀教授、坂井利衣助教、今西麻樹子講師、高橋由希子氏、氏橋貴子氏、西保亜希助教を削除。
- 講師の都合により、玉川裕夫氏、佐守友博氏、山田真規子氏、水田真平氏

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) 一② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
7	3	3	1	14	0	7	4	1	3	15	0
(5)	(3)	(1)	(0)	(9)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
7	4	1	3	15	0	7	4	1	3	15	0
[0]	[1]	[Δ2]	[2]	[1]	[0]	[0]	[1]	[Δ2]	[2]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	3 名	3 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{14} = \boxed{107.14} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{15} = \boxed{20} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	講師	安富 蔵人	R3.4	必修	X線撮影技術学Ⅰ（一般撮影）	①	令和3年4月に就任予定であったが、自己都合により他大学への就任が決まったため、就任辞退。(3)						
				必修	X線撮影技術学Ⅱ（透視・造影検査）	①							
				必修	診療画像技術学実習	①							
				必修	画像解剖学演習	①							
				必修	医療安全管理学	①							
				必修	画像解剖学	①							
				必修	臨床実習	①							
				必修	放射線安全管理学実習	①							
				必修	医療安全管理学実習	①							
				選択	診療放射線技術学総合演習Ⅰ	①							
				必修	診療放射線技術学総合演習Ⅱ	①							
				必修	卒業研究	①							
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
1	人	必修	12	科目	必修	12	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	13	科目	計	13	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	准教授	高松 邦彦	R4.3	自由	基礎数学	①	他大学への就任が決まったため、本人の自己都合により退職。(4)		
				必修	基礎統計学	②			
				必修	まなぶる▶ときわびと I	②			
				必修	応用数学	①			
				必修	まなぶる▶ときわびと II	②			
				選択	メディカルデータサイエンス	②			
				必修	卒業研究	①			
				選択	暮らしの中の数学	②			
				選択	超ときわびと	②			
2	助教	北川 薫	R5.3	必修	診療画像技術学実習	①	本人の自己都合により退職(5)		
				必修	画像診断機器学実習 II	①			
				必修	臨床実習	①			
				必修	医療安全管理学実習	①			
				必修	臨床基礎実習	①			
				必修	医療文献読解	①			
				選択	診療放射線技術学総合演習 I	①			
				必修	診療放射線技術学総合演習 II	①			
				必修	まなぶる▶ときわびと I	①			
				必修	まなぶる▶ときわびと II	①			
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	14 科目	必修	11 科目	必修	3 科目	必修	0 科目
		選択	5 科目	選択	1 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
		自由	1 科目	自由	1 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	20 科目	計	13 科目	計	7 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)					
3	人	必修	26 科目	必修	23 科目	必修	3 科目	必修	0 科目
		選択	6 科目	選択	2 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
		自由	1 科目	自由	1 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	33 科目	計	26 科目	計	7 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{14} = \boxed{21.42} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健科学部 診療放射線学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

SD委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<令和4年度の実績>

第1回SD委員会（令和4年5月9日 出席率100%）

第2回SD委員会（令和4年12月12日 出席率90%）

第3回SD委員会（令和5年2月16日 出席率190%）

c 委員会の審議事項等

<令和4年度の実績>

第1回SD委員会議題 ①今年度の活動方針と活動計画について ②学科内FDについて

第2回SD委員会議題 ①教職協働に関する研修会（SD）の開催について

②教育の質に係る客観的指標に関するSD委員会の取り組みと方向性

③「私立大学改革総合支援事業」について

第3回SD委員会議題 ①SD研修会の開催について ②年度末に向けて各学科のFD研修について

② 実施状況

a 実施内容

- ・全教職員のための研修会
- ・新任教職員のための研修会
- ・自己点検・評価委員会との連携による授業評価等のPDCA

b 実施方法

- ・年に数回、SD研修会を開催（令和4年度3回）
- ・学内及び学外有識者を迎えての研修会等を開催
- ・学外において開催される研究会等へのSD委員の参加
（関西地区FD連絡協議会、大学コンソーシアムひょうご神戸におけるFD研修等）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<令和4年度の実績>

【第1回SD研修会】（新任教職員研修）

趣 旨：本学の「建学の精神」や沿革、教育理念を理解し本学教職員として望ましい姿勢を培う機会を作る。

出席率：100%

講演者：濱田道夫（学長）、中村忠司（法人本部長）、山下敦子（SD委員長）

【第2回SD研修会】（ハラスメント防止対策研修会）

趣 旨：アカデミックハラスメントへの理解を深める。

出席率：63.0%

講演者：横山美栄子 氏（広島大学ハラスメント相談室）

【第3回SD研修会】（医療・教育行政の動向の把握）

趣 旨：医療・教育の人材養成を担う大学の役割を再確認し、学内の組織運営、教育に反映させる。

出席率：60.3%

講演者：高階恵美子氏（自由民主党衆議院議員・元厚生労働副大臣）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

毎回の研修会実施後、参加者を対象としたアンケート調査を実施。収集・分析したアンケート結果は学内Webサイトにて公開し、全教職員に対して周知することは勿論のこと、今後の授業改善等へと繋げている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年実施。原則として全科目を対象とし、授業の最終回時に実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生に対しては、前期分と後期分を分け、集計したものを「学生へのメッセージ」のデータとして一つに取りまとめ、Webサイトにて公開するとともに、事務局・図書館等に据え置くなど、学生がいつでも閲覧できるようにしている。また、教員に対しては、教育の質保証に繋げるべく集計結果を教員各人にフィードバックするとともに、年次報告書として取りまとめ、全教職員に配布するなど、情報公開に努めている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該 当 な し

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

学校法人玉田学園は明治41年、神戸市中山手通の地に平凡な市井の人々の善意と熱意で私立家政女学校として誕生した。昭和42年には、「学問と実践、研究と技術を直結することによって、すぐれた職業人、生活にすぐれた能力をもつ有為の人材を養成し、社会的、地域的要請に応えんとするものであること。」を建学の精神に掲げ、神戸常盤短期大学を創設した。その後、平成20年4月に保健科学部医療検査学科及び看護学科の1学部2学科という構成で四年制の神戸常盤大学を創設、さらに平成24年には、教育学部こども教育学科を設置した。開学以降、保健医療・教育の分野において「専門職業人」を養成する大学としてさまざまな分野で活躍できる人材を育成・輩出することにより、地域へ貢献することを広く社会から期待されている。その中で、令和2年4月、保健科学部に新たに診療放射線学科を開設した。これまで、兵庫県内には診療放射線技師養成大学がなく、専門学校のみであったが、文部科学省管轄の養成校としてより良い教育を施したく、当該学科を開設するに至った。当該学科は①社会貢献への意識を持ち、やさしさと倫理観を持った人材、②最新の知識、情報、技術を修得し真のエキスパートになれる人材、③本質を見抜く洞察力と研究的態度を備えた人材、④専門分野近傍の課題等も俯瞰できる力を有し、チーム医療の一翼を担う人材、⑤グローバルな視点で社会の多様なニーズに対応できる人間力のある人材、以上5点の養成する人材像を念頭に診療放射線技師を養成していく。学生の確保については、令和元年8月末の指定認可後、全学的に取り組んだ結果、4年間に亘り定員75名を充足することができ、併せて、専任教員も概ね計画どおり就任していることから、順調に学科運営がなされている。この結果に甘んじることなく、今後も当該学科の教育理念、並びに養成する人材像等を踏まえ、診療放射線技師養成に鋭意邁進し、ひいては社会貢献へと繋げていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和4年5月末 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行。併せて、本学Webサイトにて公開。

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

・令和3年に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受審。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトにて公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。